

いこまち



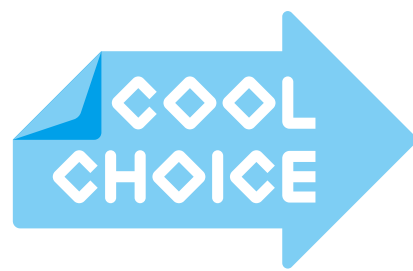
特集 まちのミライを
創る

公共施設やイベントで夏の暑さを乗り切ろう！

地球のために賢い選択

クール チョイス 「COOL CHOICE」

圏環境モデル都市推進課(☎0743-74-1111、内線376)



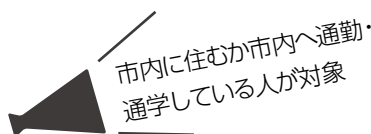
未来のために、いま選ぼう。

温室効果ガスの排出量を減らし、一人ひとりに地球温暖化対策となる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」。例えばマイカーを使うかわりに公共交通機関を利用することや電力消費量の少ない家電に買い替えるこ

とも当てはまります。本市でもこの運動に賛同し、地球温暖化対策や省エネにつながるさまざまな取組を実施。夏はエアコンの使用などでエネルギー消費が増える季節です。節電を中心に「COOL CHOICE」を心がけましょう。

公共施設を利用して家庭で使うエネルギーを削減

市民プール・浴場や自習室を無料開放



■市民プール

- ▶とき 7月20日(土)～8月31日(土)、①10:00～12:00②13:00～17:00(受付は各30分前まで)
- ▶ところ イモ山公園プール、滝寺公園プール(公共交通機関を利用するか、乗り合わせて来場してください)
- ▶定員 ①・②とも300人
——更衣ロッカー使用料(50円)が必要です。
- ▶問合せ スポーツ振興課(内線663)

■ふれあいセンター浴場

- ▶とき 7月20日(土)～8月31日(土)
- ▶注意 日帰り浴場の入場は11:00～17:00です(最終退場は18:00)。
- ▶問合せ 生駒山麓公園ふれあいセンター(☎73-8880)

■自習室(いずれも月曜日は休館です)

- ◇図書会館2階(視聴覚室内特別閲覧席コーナー)
- ▶開室時間 9:30～17:00
——人数が多い場合は当日に現地で抽選します。
- ▶問合せ 同館(☎75-5303)
- ◇北コミュニティセンターISTAはばたき(①)、南コミュニティセンターせせらぎ(②)
- ▶開室時間 9:30～19:00か13:00～19:00
——空き状況によって開放できない日や開室時間が異なる日があります。必ず利用前に各施設のホームページを確認するか、直接各施設に問い合わせてください。
- ▶問合せ ①☎71-3331②☎77-0001
——8月中は、たけまるホールの自習室も開放します。詳しくは広報いこまち7月号でお知らせします。

セタアース・デーinいこま

7月7日(日)のクールアース・デーに地球環境について考えるイベント「セタアース・デーinいこま」を開催。直径2mのデジタル地球儀「ダジックアース」の展示や廃油を使ったエコキャンドル作りなどもできます。

- ▶対象 ①小学生以上②3歳児以上
- ▶とき・ところ 7月7日(日)、①②17:00～19:00③19:00頃～20:00、ベルテラスいこま(雨天中止)
- ▶内容 ①近畿大学総合社会学部の「Eco Crew」の皆さんといっしょに、廃油を使ったエコキャンドルを作ります。②牛乳パックを使

ったエコうちわに絵付けと自分のできるエコな取組「COOL CHOICE宣言」を書きます。③エコキャンドルの点灯や地球を立体的に映すダジックアースで、今の地球の様子から温暖化防止のために私たちができるエコについて考えます。

- ▶定員 ①50人②200人③なし
- ▶費用 無料(申込不要)
- ▶問合せ 環境モデル都市推進課(内線377)



大きな地球儀で環境について考えます

家庭でできるCOOL CHOICE

使わない照明は消灯。LEDライトを積極的に利用する



家族みんなが一部屋に集まって1台のエアコンを使う



車を運転するときはエコドライブを実践する



シャワーなど不要な水を出しっぱなしにしない





人口

人口総数	前月比
119,695	- 39
世帯数	前月比
50,285	+ 32
男	前月比
56,911	- 13
女	前月比
62,784	- 26

令和元年6月1日現在、外国人を含む。
各種統計は市ホームページに掲載しています。



火災・救急・救助

(令和元年5月末日現在)

火災	救急	救助
11 (0)	2,074 (+92)	20 (+3)

◇数字は平成31年1月からの累計で、()内は前年同期の増減数です。

忘れてない？サイフにスマホに火の確認



交通事故

(令和元年5月末日現在)

発生数	人身事故		物損事故
	死者		
1,022 (-56)	78 (-10)	2 (+2)	944 (-46)

◇数字は平成31年1月からの累計(概数)で、()内は前年同期の増減数です。



表紙のことは



月1回、あすか野ミライ会議を開くあすか野に住む皆さん。6月2日(日)は公園での星空観察会の報告や、今後の活動などを話し合いました。楽しみながら無理なく地域活動を続けています。

なくそう差別

みんなの力で明るい生駒市
毎月11日は「人権を確かめあう日」

市役所の開庁時間は8:30~17:15
(土曜・日曜日、祝日、年末年始は閉庁)

P.2

地球のために賢い選択 フル チョイス 「COOL CHOICE」

特集1

P.4

まちのこれから

特集2

P.8

まちのミライを創る

PICK UP 01

P.12

自分と家族の命を守るため
早めに防災対策・避難行動を

PICK UP 02

P.14

マイサポいこま

お知らせ

P.15

ほすいけある
蓮池薫さん講演会 p.16
山ろくキッズサマーキャンプ p.17
シェイクアウトいこま参加者募集 p.19
創業者支援セミナー p.22
熱中症は予防できます p.26
もったいない食器市でリユース食器を販売します p.27

P.31

まちのアルバム

P.32

旬のいこまをいただきます、歩いていこまめぐり

P.33

子育てひろば、7月の3歳児歯科健診・子育て相談、もったいない食器市

P.34

街人探訪

P.35

読者の声、消費生活 暮らしのQ & A、編集後記

点字と声による「いこまち」も発行しています。詳しくは障がい福祉課(内線794)へ



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



6月15日号の印刷経費は1冊約30円です。環境に配慮し、大豆油インクを使っています。

増え続けてきた人口が減少に

「生駒市の住民も行政も危機意識が乏しい。意識を改め、残り僅かな可能性と未来へのエネルギーを使って転換すべきです」

昨年1月、帝塚山大学名誉教授の中川幾郎いくおさんが、生駒市総合計画審議会の初回会議の口火を切りました。

「人口が伸びてきた経緯と都市イメージが非常に良いので自意識が強い生駒市。これはとても危険なことで、危機はすぐそこまできているんです」

生駒山など緑豊かな環境に恵まれ、大都市のベッドタウンとして発展してきた本市。順調に増えてきた人口は、約5年半前から減少に転じました。国や本市の推計では、今後人口の減少は止まらず、10年後には50000人、20年後にはさらに約1万人も減ると予測されています。

より深刻なのは、世代別の年齢構成の推移。現在、65歳以上の高齢者が人口に占める割合は約28%で、20年後には、約36%まで上昇します。

また、15〜64歳の生産年齢人口は現在59%程ですが、20年間で約50%まで減少。住宅都市の

まちのこれから —特集1—

これから生駒市が何を大事に、どんな方向へ進むのか——。その考えを示した、まちづくりの指針「第6次生駒市総合計画」が完成しました。今後20年間のビジョンや5年後を見据えた施策などを掲げたこの計画の概要を伝えます。

圖秘書企画課(☎0743-74-1111、内線214)



特性上、市の収入のうち市税（市民税や固定資産税など）が約46%を占めているため、生産年齢人口がそのまま減り続けると、行政サービスの低下に直結します。

未来を見据えたまちづくり指針

今後、まちの活力を維持するためには、「生駒に住み続けたい」と思う人を増やしたり、地域に参画し「まちの担い手」となる住民を増やしたりすることも急務です。

社会は大きく変化しており、未来を正確に予測することは困難です。しかし、本市の持続可能な

発展のためには、人口増加を前提とした今までのまちづくりと違った方向へのかじ取りが欠かせません。直面する人口減少や少子高齢社会に加え、予想できる社会情勢の変化などを考慮し、その変化に伴う課題を最大限緩和する必要があります。

そこで、本市は20年後を見据えたまちづくりの指針「第6次総合計画」を策定しました。市が目指す姿（将来都市像）を「自分らしく輝けるステージ・生駒」と定め、実現に向けて、各施策を進めていきます。

将来都市像（本市が目指す姿）

「ベッドタウン」から「自分らしく輝けるステージ」へ

本市が目指すまちの姿を「自分らしく輝けるステージ・生駒」と決めました。多様な生き方や暮らしができる機会や場となり、人と人のつながりが豊かにあるまち（ステージ）であること。また、主役である市民の皆さんが仲間を作り、夢をかなえ、輝く人生を送ること。これを、まち全体が応援するような環境を作ることを目指していきます。

本市は、大都市への通勤・通学者が多く住む「住宅都市」。その基本的な方向性を受け継ぎながら、「生駒に住みたい」「生駒にいつまでも住み続けたい」と思われるまちを築いていきます。そのため、市内で日中の多くの時間を過ごしたり、生駒で住み・働きながら暮らししたりするなど、多様な生き方や暮らし方に対応した都市の実現を目指します。

数字で見る生駒

{ 県外就業率 }



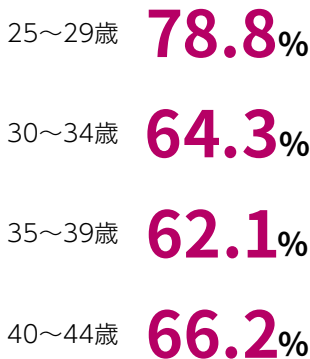
生駒で住み、都市圏などで働く人が年々減り「ベッドタウン」ではなくなってきています。

{ 人口の将来予測 }



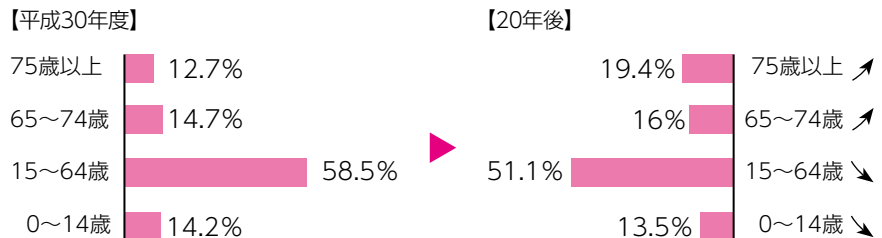
増え続けてきた人口が、平成25年11月をピークに減り始めました。40年後には9万2,000人まで減ると予測しています。

{ 女性就業率 }



25~29歳は全国・奈良県平均を大きく上回ります。30歳代以降は全国・奈良県平均を下回っていますが、上昇傾向です。

{ 年齢構成の変化 }



{ 本市の定住意向 }



多くの人が「ずっと住み続けたい」「当分の間は住み続けたい」と回答。

{ 地域活動などへの参加意向 }



自治会やPTAの活動、ボランティアなどに参加したい人は2人に1人でした。

まちの未来を見据えて 戦略的に進める施策

本市の持続可能な発展のためには、今後起こりうる社会情勢の変化を見据え、戦略的に施策を推進する必要があります。これから予想できる社会の変化や、それらに対応するための本市の施策を紹介します。

2

社会・コミュニティの変化



人口減少や少子高齢化の進行に加え、生産年齢人口が減少するなど、本市の人口構造の変化が見込まれています。また、核家族化やライフスタイルの多様化により、コミュニティのつながりが希薄化。地域への愛着や帰属意識の低下、コミュニティを支える担い手の不足が懸念されています。

コミュニティのあり方も大きく変わってきています。例えば、SNSの普及などにより、趣味やボランティア、副業などによるさまざまなつながりが、世代や空間を超えて数多く緩やかに形成されるようになってきています。

■今後5年間の主な施策

- ◇不育症治療・一般不妊治療費助成による経済的負担の軽減
- ◇生駒らしい魅力の形成と、差別化につながる戦略的事業の推進や関係部門間の連携促進
- ◇生駒らしいライフスタイルの発信などによる都市イメージの形成
- ◇地域福祉活動が機能するための環境整備

1

ライフスタイル・暮らし方の変化



出生から就学・進学・就職・結婚・育児・定年退職といった、これまで「普通」とされてきた人生の歩み方が大きく変化しています。例えば、働きながら子育てをする女性や、定年後も社会で活躍する高齢者など、ライフスタイルは多種多様。また、高度情報化社会の進展に伴い、さまざまな技術も進歩。学習やコミュニケーション方法、買い物など、暮らしの中にも大きな変化が見られます。

こうしたライフスタイルや暮らし方の変化を踏まえ、行政サービスの対象を柔軟に捉えて、さまざまな人々の暮らしに寄り添った施策を進めていきます。

■今後5年間の主な施策

- ◇地域の特長を生かしたライフスタイルの実現と多様な住まい方・暮らし方の受容と理解の促進
- ◇夢や目標の実現を目指す人や新しい暮らしをする人の可視化とつながりや交流の支援
- ◇時代の転換を見据えた企業誘致
- ◇子育て中の女性や高齢者など多様な人材への就業支援の実施

住民と共に作った総合計画

まちづくりの指針「総合計画」は、教育、福祉、環境、安全・安心、市民協働、商工観光など、各分野の行政計画の基本となる市の最上位計画です。

公募市民や有識者、市民団体など12人で構成する「生駒市総合計画審議会」が、この計画の原案を作成しました。約1年間、20回以上の議論を重ねて完成した計画。人口の推移や個人のライフスタイルや価値観、都市構造の変化など、さまざまな視点から市の将来都市像を描きました。

総合計画は、20年後のビジョンを描いた「基本構想」と、4～5年間の行政運営のプランを示した「基本計画」に分かれます。基本計画では、防災や教育、生涯学習など分野ごとに目標とするまちの姿や、重点的に取り組む施策を掲載しています。

各施策の有効性は、客観的な証拠に基づき評価していきます。実施後もその効果を検証。時代の変化などにより必要に応じて、計画を改善・見直しながら進捗を管理します。

読者に聞いた

どうなる生駒の 未来の姿？

まちの未来はどうなっているのでしょうか。広報いこま「いこまち」読者モニター80人に「10～20年後にこうあってほしいまちの姿」を聞きました。その一部を抜粋して紹介します。

自然環境



「生駒いいね」とよく言われますが、そのひとつは、自然豊かであること。今以上に良い自然環境を引き継ぎたい。(50歳代、男性)

自然環境と適度な開発がマッチして、幅広い年齢層が安心して生活できるまち。(60歳代、女性)



子ども・子育て



今の子どもたちが大人になっても生駒に住み、子育てをしたいと思えるような活気のあるまち。(30歳代、女性)

子育て世代だが、20年すれば子どもは独立する。若い人もお年寄りもいっしょに住めるまちになるのが理想的。(30歳代、女性)



福祉



高齢者が気軽に外出できる手段やイベントが充実し、生きいきとした姿を少しでも多く見たい。(70歳代、男性)

ドライバーなしのタクシーが高齢者の移動手段として活躍している。(30歳代、男性)



その他



昔ながらの風情や歴史的建造物、ケーブルカーが残り、子どもたちが住んで良かったと思えるまちになってほしい。(30歳代、女性)

比較的アクセスが良く、子育てしやすい環境で規模の割に鉄道の駅が多いため、駅を中心としたコンパクトシティに。(40歳代、男性)



いろいろな立場の人たちが自分らしく共生できるまち。(40歳代、男性)

3

都市のあり方の変化



右記の2つの変化に伴い、「自宅と職場を結び」動線を中心とした「ベッドタウン型の都市構造」からの転換が必要です。そのため、市内のさまざまな場所でお互いに交流できる場があり、その場同士を結ぶネットワークが整備されたコンパクトなまちづくりを進めます。

そのうえで、高齢化や人口減少、外国人観光客の増加を受けて、さまざまな人々にとって利用しやすい、暮らしやすいまちづくりを進めていきます。

■今後5年間の主な施策

- ◇時代のニーズに即した持続可能なコンパクトなまちづくりを進めるため、柔軟で合理的な土地利用の促進
- ◇空き家対策として住宅需要バランスや周辺環境への負荷に配慮した新築・土地利用のあり方の検討
- ◇人口減少や人口構造の変化を見据えた公共施設の適性の配置方針や計画的な改修時期などの決定



ご覧ください。
ホームページを
——詳細は、市
ご覧いただけます。
▲詳しくはこちら



総計画は、関係資料を含めると100ページ以上になります。それを10ページにまとめた「ガイドブック」を作成。イラストやグラフなどを使って分かりやすく説明しています。

10ページで分かる未来像

40年で一変した「あすか野」

「昔はコンビニや本屋もありました。今はお店が少なくなり、最寄りのスーパーまでは、車で10分ほどかかります」

あすか野で40年前から暮らす飯田正昭さん。昭和53年に造成されたばかりの住宅街「あすか野」に引越してきました。緑に囲まれたこのニュータウンは人気を博し、最盛期の人口は約5930人まで増加。まちの中心地には、商店街やスーパー、ケーキ屋、コンビニなどが並び、住民の暮らしを支えていました。

まちびらきから40年以上が経ち、街中の様子は一変。高齢化率は40%を超え、空き家は徐々に増えてつづいています。現在約4600人が暮らしていますが、20年後には約1000人も人口が減るといふ予測もあるほどです。

一方で、夏祭りや移動販売「土曜市」など、地域住民による活動は盛ん。住民の地域活動への参加意向も高いのが特徴です。こうした背景の中、同地域で暮らす約40人が集まり、まちの未来に必要な取組を考える「あすか野ミライ会議」を開きました。

あすか野の特性や将来の人口

特集2

まちのミライを創る

特集1では、人口が減少する本市の現状を伝えました。地域ごとに着目すると、人口が増える場所もあれば減るところもあり、課題はそれぞれ違います。また本市には、あすか野地区のように約40～50年前のまちびらきと同時に、同年代が一斉に入居した住宅街が多いため、高齢化や人口減少が一気に進みます。今後、まちを盛り上げていくには何が必要でしょうか。この特集では、あすか野ミライ会議の事例から、これからのまちづくりについて考えます。

閩都市計画課 (☎0743-74-1111、内線567)



2



3



1



さまざまな世代が
共に学び楽しむ
【こどもとおとなの学び舎】



シャッターを開けて
お店が並ぶ街並みに
【商店街マルシェ】



70種類250本の桜の
通り抜けを楽しむ
【桜まつり】

5 動き出した つのプロジェクト

あすか野ミライ会議で生まれた5つのプロジェクト。既に始まったものや来年に実施するものなど、それぞれが住民主体で動き出しています。



約4,600人が暮らす「あすか野」。教育環境の良さや緑豊かな自然環境が人気の住宅街です。

「ミライ会議」が始まったのは、昨年9月。「公園でヨガをしたい」「放課後に子どもと高齢者が交流できる場所を作ろう」など、22個のアイデアを参加者が出し合いました。それらのアイデアの中からあすか野で暮らす人たちが「いいね」「協力したい」と感じたものに投票する「アイデア総選挙」を実施。選ばれた5つのアイデアを実現するために、各プ

住民が切り開くまちのミライ

予測、地域課題などを共有し、6か月かけてまちをどう盛り上げていくかを考えた参加者の皆さん。「商店街でマルシェを開いて、お店のシャッターを一つでも開けよう」「桜まつりを開き、あすか野の美しい桜並木を未来に引き継ごう」など、5つのプロジェクト(下記参照)を企画しました。

プロジェクトに分かれ、内容やスケジュールなどを話し合いました。「住みやすいまちにしていくなために、自分たちの世代もまちづくりに参加しないといけないと気づきました」と話す、30歳の京藤菜央さん。生後数か月のいろはさんと夫の真直さんと参加しました。「『住みやすい』『人があったか』と言われるあすか野の魅力は、さまざまな人たちが作り上げてきたもの。今度は私たちの世代が受け継ぎ、作り上げていくべきですね。10年後も魅力的なまちであるために、地域の活動にできることから参加してみます」

ミライ会議3つのポイント

同じ地域で暮らす人たちが参加

大学生や子育て世代、高齢者など、あすか野で暮らす多世代が集まりました。違う世代の人と話すことで異なる視点や考え方に触れ新しい発見をした参加者もいました。また、同じ地域で暮らす者同士だからこそ共感できる部分が多く、連帯感が生まれやすくなります。



ミライに向けた活動を始める

将来のまちの姿や現状・課題を知り、自分たちのまちをどのように盛り上げるかを考えます。既にある活動を生かしたものや、新しく始めるものなど、まちづくりの方法は多種多様。住民が協力しあい、ミライに向けた活動に取り組みます。



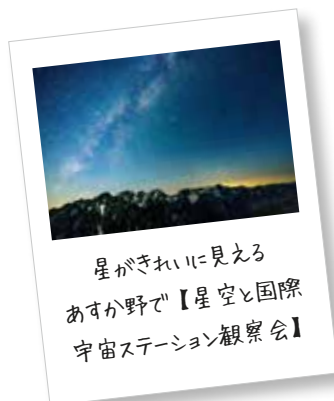
楽しくゆるく続ける

アイデアやスキル、人脈などを活用し、できることから気軽にプロジェクトをスタートしました。ミライ会議は本市が主催しましたが、取り組んでいくのは住民の皆さん。楽しく無理なく続けられるように、参加者でルールを決めています。



①20～70歳代の40人が参加。あすか野を盛り上げていこうと、プロジェクトの企画に自然と熱が入ります②「地域活動は初めて」という30～40歳代の人が多くみられました③あすか野の好きなお店やおいしい点を書き出し、地域の課題や取り組みたいことを整理④実現したいアイデアに投票。楽しそうなプロジェクトがたくさん並びました。

あすか野ミライ会議の様子を、約2分の動画にまとめました。



星がきれいに見えるあすか野で【星空と国際宇宙ステーション観察会】



家の前に不用品を並べ持ち帰ってもらう【断捨離日もってってマーケット】

あすか野ミライ会議
参加者に聞いた



松元 真さん

私たちの世代が
まちの魅力を守る番

地域活動が盛んなあすか野。特に、高齢者の皆さんが熱心に登下校の見守りや防犯の見回りなどを行っています。話をしていると、こうした活動こそがまちの魅力を作っていると痛感。次はその恩恵を受けている私たちの世代が魅力を守る番だと感じました。

ミライ会議は、同年代を始めさまざまな年代の人と知り合うきっかけになりました。10年後もすばらしいまちにするため、多世代のつながりを大事にします。



吉田 朱さん

不用品を通じた交流で
顔見知りが多いまちに

以前、使わない子どもの服などを自宅前に並べ自由に持ち帰ってもらえるようにしたことがあったんです。すると、ほとんどがなくなり、びっくりしました。

ミライ会議では、このフリーマーケットのような企画を提案。協力者が現れ、6月から毎月20日にあすか野全域で行うことになりました。使わなくなった物をきっかけに、隣近所が気軽に交流できるようになって、顔見知りが多い地域になればうれしいですね。

まちの未来のために
私たちができること

あすか野ミライ会議に参加した皆さんは、自分たちが暮らすあすか野で、新たな地域活動の一步を踏み出しました。参加した5人の皆さんから、今後のまちとの関わり方や、地域でやりたいことを聞きました。



齊藤 隆夫さん

育ててきた桜並木で
住民がつながる場を作る

70種類250本の桜が楽しめる緑道があすか野にあります。これらのうち、69種類100本は7年前に自治会が植樹。地域住民で「桜を守る会」を結成し育ててきました。その桜を次世代に引き継ぐため、ミライ会議に参加したんです。

同会議で話し合い、桜の通り抜けでスタンプラリーやお気に入りの桜への投票などを行う「桜まつり」を来春に企画。誰でも参加できるお花見などを行い、住民がつながれる場にしたいですね。



英 武琉さん

気づいたまちの魅力を
伝えることから始める

初めて地域活動に参加。ミライ会議では普段話す機会が少ない異世代の皆さんから、まちの歴史や魅力を聞きました。今まで気づかなかったあすか野を知り、愛着がすごく深まったんです。

あすか野の魅力を残していくには、多くの人がそのすばらしさに気づくことが大事です。「星空がきれい」「住民が親切で温かい」など、私自身が思うまちの魅力を身近にいる家族や友人などに伝えることから始めます。



村田 雅子さん

自宅を開放して
地域住民の交流の場に

煎茶を楽しむ会を地域の人たちに向けて開いてみました。きっかけは、趣味などを通じた地域交流の場として自宅の一部を開放する「住み開き」という考え方を、ミライ会議で知ったこと。地域のために自分ができることから始めてみようと思ったんです。

煎茶は20年前前から習っていました。「日本文化を気軽に知ってほしい」「地域住民が知り合える場になってほしい」という思いで開放しています。



Takahiro Hisa

近畿大学総合社会学部教授(環境・まちづくり系専攻)。工学博士。各地で一般市民向けのまちづくり講座を担当し、市民主体の活動を支援している。

やりたいことから気軽にやってみる 楽しみながら始めるまちづくり

「できることから始めてみる」。地域活動をスタートするうえで最も大事なことです。自宅を開放して煎茶を披露したり、不用品を家の前に置いてみたり。あすか野ミライ会議に参加した皆さんは、自分たちが持っているスキルや場

所、アイデアを活用して、まちづくりの活動を始めました。「活動には仲間が必要」と、協力者をすぐに集めなくても構いません。一人しかいなければ、一人でできることから始めてください。自分の体力に見合った規模でスタートし、楽しみながら仲間を探せばいいんです。前向きに活動

活動は楽しく・前向きに

を続けていけば、いつか応援してくれる人やいっしょにやってくれる人が必ず現れます。

「気軽に」を取り入れてみる

地域活動のやり方は、自治会などリーダーや議題を決めて集まる「組織型」と、参加者の関係が平等で出席や議題を決めず、ゆるくつながる「ネットワーク型」があります。どちらも必要不可欠ですが、今後のまちづくりには、若者や子育て世代のさらなる参加も必要。この世代は活動への「気軽さ」を求めているため、開催場所・時間だけを決め「やりたい人がやりたいときに集まる」方法を取り入れていくべきですね。

地域には、既存の活動も新たにスタートする活動もあります。多様性を受け入れ、協力しあいながら、まちをもっと盛り上げていきましょう。

Interview

久 隆浩

これからの地域活動に必要なこと

まちを盛り上げ、活気を維持・向上していくためには、まちづくりの形をどのようにしていく必要があるのでしょうか。近畿大学総合社会学部の久隆浩さんに話を聞きました。

本音 \ あなたが暮らす地域について / を聞かせてください

普段、何気なく暮らす地域の好きなのところや心配なことはありますか。整理すると、まちでやりたいことが見えてくるかもしれません。

Q 地域の好きなのところはあるですか。

例えば…

- ◇ 夏祭りが盛り上がる
- ◇ 生駒山がきれいに見える
- ◇ 見守り活動が盛ん

Q 地域で心配なことは何ですか。

例えば…

- ◇ 空き家が増えてきた
- ◇ 近所付き合いが希薄
- ◇ 子どもが楽しめる場がない

Q 地域でしたいことはありますか。

例えば…

- ◇ 地域食堂を始めたい
- ◇ 盆踊りを復活させたい
- ◇ ミライ会議をしたい

【回答はこちら】

回答は市ホームページで受け付けています。いただいた意見などは、今後のまちづくりの参考とします。詳しくはこちら





自分と家族の命を守るため 早めに防災対策・避難行動を

6月中旬～10月頃は、梅雨の長雨や台風による大雨・洪水・暴風などの風水害や土砂災害が起こりやすい時期です。昨年は、「平成30年7月豪雨」や「台風21号」で本市にも大きな被害が発生しました。被害を最小限にするために、日頃からの備えを見直しませんか。

圃防災安全課(☎0743-74-1111、内線255)

▲死者も発生した、昨年の西日本を襲った豪雨をはじめ、風水害は身近に起こりうる災害です

■災害に備えての事前準備～家族編～

住んでいる地域の危険性を知る

自分の住んでいる地域の危険性を事前に知っておくことで、人的被害は最小限に食い止められます。



「土砂災害ハザードマップ」で自宅付近の土砂災害警戒区域や避難場所を確認してください。該当区域やその付近は早めの避難が必要です。マップを元に、あらかじめ避難場所まで歩いてみるのも有効です。

土砂災害ハザードマップは市ホームページでも確認できます▶



また、家の周りの石垣やよう壁のゆるみ・亀裂は危険です。あれば早めに補修しましょう。

家族で必要なこと・ものを準備する

家族で防災会議をして、下記のような、いざというときの約束事を決めましょう。非常持ち出し品や備蓄品は、子どもや高齢者など、家族構成で必要なものが異なります。自分たちに合ったものを揃えておきましょう。

準備すること・ものリスト

- 家族との連絡方法
- 非常持ち出し品や備蓄品 (飲料水や懐中電灯など)
- 家族が集まる場所を決めておく
- 学校や勤務先の場所・連絡先を確認しリストを作る

➡避難時、2・3日分の水と食料は必須です。日ごろからの確認がたいせつです。

Check Point①

「警戒レベル」で避難をお知らせ 防災情報の伝え方が変わりました



■災害が起きる前にできること～個人編～

正しい避難方法を知る

自宅にいることが危険だと判断した場合、自身の安全を確保しながら安全な場所に避難してください。ただし、避難は以下のことに注意して行うようにしましょう。

- ◇動きやすい服装(長袖長ズボン、運動靴など)
- ◇単独行動はしない
- ◇両手が使えるように荷物は背負う
- ◇隣近所へ避難の呼びかけを行う

- ◇子どもや高齢者を気にかける
 - ◇雨が弱いうちに避難を始める
- 避難情報を発令していなくても身の回りに危険を感じた場合は、早めに自主避難を行ってください。避難場所は、自主避難時に、市に確認・相談してください。



正確な情報の取得方法を知る

災害が起きる前、自らの命を守るためにたいせつなのは、正確な情報を迅速に得ることです。災害時は、本市をはじめ国や県、報道機関などはさまざまな媒体を使って情報を発信しています。いざというときに必要な情報源を確認しておきましょう。

◇災害情報の取得方法一覧



市ホームページ



ツイッター
(防災いこま)



フェイスブック
(まんでんいこま)



テレビ・ラジオ



生駒市緊急・災害情報メール



緊急速報メール



防災行政無線



広報車両の呼びかけ



自治会連絡網



こちらも検索&チェック!

教えてダイヤル

防災行政無線の内容を聞き逃してしまった場合に、放送内容を電話で確認できます(通話料は必要)。

☎ 050-5212-5255

レーダー・ナウキャスト

雨雲の動きが1時間単位で表示され、自分の地域にいつ雨雲が来るかが確認できます。

土砂災害警戒判定メッシュ情報

1～5km単位で土砂災害に関するきめ細やかな情報が確認可能。災害時は常時更新されます。

Check Point②

知っているようで知らない?

「指定緊急避難場所」と「指定避難所」の違いをおさらい



災害のおそれとともに開放

「指定緊急避難場所」

災害が発生、または発生するおそれがあるときに危険から身の安全を守るために開放します。いずれも洪水や地震などの災害から、一時的に身を守るための施設です。本市では、公共施設や学校など34か所を指定。避難をするときは、避難に必要な身の回りのものを準備して早めに避難しましょう。

長期的な避難者(被災者)に対応

「指定避難所」

災害発生後に、引き続き災害の危険性がある場合に開設します。災害によって家に戻れなくなった人などが対象。被災者が、生活を再建するために必要な期間滞在できます。現在、本市では33か所を指定しています(指定緊急避難場所から、芸術会館美楽を除いた数です)。



▲避難所の確認はこちら

＼ ペン1本でできるボランティアの応援 /

マイサポいこま

市内で社会貢献活動を行う市民活動団体を応援できる制度「マイサポいこま」。子育て支援や緑地整備など、さまざまなジャンルで活動する15団体の中から最大3つまで選び、届け出できます。団体はもらった応援の数に応じて、市から支援金を受け取ります。応援方法は広報紙と同時配布の冊子「マイサポいこま」にある「マイサポ応援チケット」に記入するか、市ホームページから届け出るだけです。すぐにでもできるボランティア応援をしてみませんか。

圏市民活動推進センターららポート (☎0743-75-6000)



同時配布の冊子をCHECK

■応援方法は3パターンのいずれか

①郵送



同時配布の冊子にある「マイサポ応援チケット」を郵送で提出
——同冊子の表紙で切手不要の封筒が作れます。

②窓口で直接



同チケットを市内13か所に設置している窓口へ直接提出
——窓口の場所は同冊子の裏面に記載しています。

③インターネット



市ホームページの申込フォームから届け出。数分で手続きできます。



▲フォームはこちら

よくある

マイサポいこま Q&A

- Q. お金を支払う必要はありますか？
- A. 必要ありません
支援金は市が支出します。個人への請求はありません。
- Q. 昨年応援したので、今年はできませんか？
- A. 毎年度、応援できます
エントリーしている団体は、毎年異なります。今年度も応援をお願いします。

「マイサポいこま」の支援で 広がった活動の幅

平成30年度のマイサポいこまを利用し、新たな活動にチャレンジした2団体の取組を紹介します。

子どもたちが森に 親しめるイベントを開催

子どもたちが自由に遊べる森を作るためにイモ山公園などの整備や、地域の子どもたちが森と触れ合えるイベントを開催しています。昨年、団体結成10年目を迎え、市内全域の子どもたち向けに植物の観察や、自然素材を使った工作ができる催しを開こうとマイサポいこまの支援を受けました。夏休み期間にイベントを開催し、22人が参加。子どもたちは、植物や昆虫などの自然に興味津々でした。その生き生きとした様子を見て、私たちの日頃の活動のたいせつさに改めて気づき、続けていく活力になりました。



森の整備活動の1つとして
大木を伐採



いこま宝の里代表
磯貝さん

生駒市の防災情報を まとめた一冊を作成

発達障害や不登校など、支援を必要とする中学・高校生専門の放課後等デイサービスを運営しています。そこでは「自分の身は自分で守る」をテーマに防災学習を月1回実施。その学習内容を市民の皆さんにも知ってもらおうと一冊の冊子にするため、マイサポいこまにエントリーしました。支援金を利用し、1,500部の冊子を製作。「どこでももらえますか？」など問合せも多く、残りは数冊程度。現在、実費で第2弾の製作を企画中です。皆さんの支援で作れた冊子なので、1回で終わらせず、できる限り継続していきます。



防災の知恵がつまった
無料の冊子「ぶらぼう」



NPO法人市民活動サークルえん
事務局長 磯野さん

イコマニア



市民の皆さんが協働で行うイベントを「イコマニア」に認定。地元「いこま」をにぎわいのあそび場としてつなげていきます。

小平尾南(憩いの場) たわわ食堂に來ませんか

▼とき・ところ 6月27日(木) 10時～13時、人権文化センター(調理は10時、食事は11時30分から。申込不要)

▼内容 地域の高齢者が受け継いできた郷土料理をいっしょに作り、温かいご飯を囲みながら楽しく過ごしませんか(50食限定、食事だけの参加も可)。

▼費用 300円(子どもは100円、乳幼児は無料)

▼問合せ 人権文化センター(☎77・7371)

たのしいミニ囲碁体験

▼とき・ところ 7月27日(土) 13時～16時30分、たけまるホール

▼内容 1ゲームは5分。5才から親子でも歓迎です。

▼定員 25人(申込順)

▼費用 無料



簡単なゲームで囲碁に親しもう

▼申込み・問合せ 6月24日(月)～7月26日(金)に電話で囲碁のまち生駒プロジェクトの辻内正博さん(☎090・9994・7671)

生駒山のアジサイを巡るハイキング

▼とき・ところ 7月5日(金)、ケーブル生駒山上駅9時30分出発、南生駒駅12時30分頃解散(受付は9時20分から)

▼内容 生駒山の西側にあるアジサイの名所「ぬかた園地」から慈光寺、暗峠を経て南生駒駅までをボランティアガイドが案内します(約8km)。

——希望者は解散後に、菊司醸造で試飲も楽しめます。

▼定員 30人(抽選制)

▼費用 無料

▼申込み・問合せ 6月26日(水)(必着)までに、はがきかメールに参加者全員の住所・氏名・当日連絡のとれる電話番号

号・年齢を書いて、生駒市観光協会事務局「アジサイを巡るハイキング」係(〒630-0288、東新町8-38、商工観光課内、内線328、☒ikoma-kankou@city.ikoma.nara.jp)

イベント・講座



七夕の短冊に願い事をしてみませんか

▼とき・ところ 7月1日(月)～7日(日)、高山竹林園

▼内容 本市の特産品である茶筌や茶道具、編針の材料である竹に親しみをもってもらうため、七夕飾りを設置します。願い事を書いた短冊は期間中館内に展示します。

▼費用 無料(短冊は事務所で配付)

▼問合せ 高山竹林園(☎79・3344)



願いを込めた短冊を飾りに来ませんか

夏休みの自由研究にもおすすめ



お茶会 @北分館×茶筌のふるさと

本市の特産品である「高山茶筌」をはじめ、ふるさと生駒について図書館資料で学び、お茶会や茶筌づくりを体験します。



▶対象 市内に住む小学生以上で、できるだけ全回参加できる人かペア

——中学生以下は保護者とペアで参加してください。申込者以外は参加できません。

▶定員 20人(抽選制。子どもを含む応募者を優先します)

▶費用 個人2,550円、ペア2,800円(全3回分。初回受付時に徴収します。欠席しても返金できません)

▶申込み・問合せ 7月12日(金)(必着)までに市ホームページの申込フォームか往復はがき、市内の各図書館・室にある申込書に、参加者全員の住所・氏名・ふりがな・年齢または学年・電話番号を書いて、図書館北分館(〒630-0131 上町1543、☎71-3332)

——この事業は「高山茶筌の会Wi-Wi」と共催します。

とき・ところ・内容

とき	ところ	内容
7月27日(土)	北コミュニティセンターIS TAはばたき	茶の湯の話聞き、お茶を味わうお茶会体験と図書館北分館の資料で茶筌を調べます。
8月10日(土)	翠華園(高山町)	茶筌の制作体験(茶筌は持ち帰れます)
31日(土)	高山竹林園など	高山の里山巡り、8月10日に作ったマイ茶筌でお茶を点てます。茶筌を使ったドリンクレシピ紹介などもあります。

◇いずれも10:00～12:00に開催します。



鈴木智貴さん

鈴木智貴ウクレレ ワークショップ

- ▼対象 Hig・h・Gのウクレレが持参でき、TAB譜が読める人
- ▼とき・ところ 7月17日(水)、8月21日(水)、①13時から②16時30分から、図書館
- ▼内容 本市出身のウクレレ奏者鈴木智貴さんによる90分のワークショップと30分のミニライブ。7月は「ラヴ・イズ・オーバー」、8月は「少年時代」の曲を学びます。
- ▼必要品 ウクレレ(Hig h・G)、筆記道具
- ▼定員 各20人(抽選制、複数回受講可)
- ▼費用 2500円
- ▼申込み・問合せ 6月25日(火)～30日(日)にファクスかメールに郵便番号、住所、氏名、電話番号、講座名、希望日・時間(①か②)を書いて、図書館講座受付係(☎75・53)

03、☎73・3600、✉tosy-o-info@ikomashi-sg.jp

涼・うちわ書き

- ▼対象 中学生以上
- ▼とき・ところ 6月30日(日)14時30分～17時、芸術会館 美楽来
- ▼内容 うちわに好きな文字を書いて涼を楽しもう。
- ▼必要品 書道道具一式(貸出あり)
- ▼定員 30人
- ▼費用 500円
- ▼問合せ 生駒市書道協会の土井伶さん(☎74・6569)

古本アワー in 南分館

- ▼対象 市内に住むか市内へ通勤・通学している人
- ▼とき・ところ 7月4日(木)、8月1日(木)、9月5日(木)、13時～14時、南コミュニティセンターせせらぎ
- ▼内容 南分館で不用となった所蔵本や寄贈本などを無料で持ち帰れます(なくなり次第終了。もったいない食器市と併せて開催。寄贈本は随時受け付けています)
- ▼問合せ 図書館南分館(☎77・0005)

拉致され、北朝鮮で過ごした24年間を語る

蓮池薫さん講演会

誰もが幸福であるためには、日常生活における身近なことを人権の視点から見つめ直し、行動につなげることがたいせつです。差別をなくす強調月間である7月にさまざまな催しを実施。人権について改めて考えてみませんか。

☎人権施策課(内線656)



講師 蓮池薫さん

新潟県生まれ。1978年に現在の妻、祐木子さんとともに拉致され、24年間北朝鮮での生活を強いられる。帰国後、翻訳者として活動しながら拉致問題の解決のため、全国で講演活動を行う。

- ▶とき・ところ 7月13日(土)13:00～15:00(開場は12:30)、たけまるホール大ホール
——公共交通機関を利用してください。

- ▶内容 北朝鮮拉致被害者の蓮池薫さんによる講演「『夢と絆』～24年間拉致されていた事実」

- ▶費用 無料(申込不要)

- ▶その他 手話通訳と要約筆記があります。託児が必要な人は、7月1日(月)～4日(木)に同課に電話で申し込んでください(おやつ代100円が必要)。

——「2019いこまYou&Iフェスタ・山びこ講座～差別をなくす市民集会」「いこま寿大学一般教養学習会」との合同開催です。

■人権図書コーナー

- ▶とき・ところ 7月6日(土)～8月1日(木)(休館日を除く)、図書館・図書館北分館・図書館南分館・生駒駅前図書室・鹿ノ台ふれあいホール図書室

■人権相談

- ▶とき・ところ 7月16日(火)10:00～15:00、市役所
- ▶内容 人権擁護委員による人権に関する無料相談

■人権啓発街頭キャンペーン

- ▶とき・ところ 7月1日(月)8:00～9:00、生駒駅改札前

- ▶内容 人権擁護委員の啓発物品の配布による人権啓発キャンペーン

■人権啓発ポスター展

- ▶とき・ところ 7月5日(金)～28日(日)(休館日を除く)、たけまるホール

- ▶内容 小学生による人権啓発ポスターの優秀作品のロビー展示

生駒市人権施策に関する基本計画(第2次)を策定

誰もが互いの個性を尊重し、多様な文化や価値観を認め合う人権尊重のまちづくりを進めるために同計画を策定。女性、子ども、高齢者、LGBTなど性的少数者などの人権問題の具体的な取組を定め、進行管理を行っていきます。

- ▶計画実施期間 令和11年3月31日まで

パパとチャレンジ!! 親子deクッキング

▼対象 市内に住むか市内へ通勤している父親と小学生の子ども

▼とき・ところ 7月27日(土) 10時30分～13時、大阪ガスクッキングスクール(奈良市学園北)

——公共交通機関を利用してください。

▼内容 お父さんと子どもでサーモンの南蛮漬けやデザートなど5品を作ります。普段から料理する人も作る機会が少なく苦手な人も歓迎です。

▼定員 12組24人(抽選制)

▼費用 一組1500円

▼申込み・問合せ 7月4日(木)(必着)までに往復はがきかファクス、メールで、住所、氏名・ふりがな、年齢、電話・ファクス番号を書いて、男



かんたん和食に
チャレンジしませんか

女共同企画プラザ「親子deクッキング」係(T6300-0257、元町1丁目6-12、生駒セイセイビル1階、☎75-0237、☎73-0555、☎gender@city.ikoma.lg.jp)

山ろく キッズサマーキャンプ

▼対象 小学生(市内在住の人を優先)

▼とき

◇Aコース：8月6日(火)10時30分～7日(水)15時30分
◇Bコース：8月27日(火)10時30分～28日(水)15時30分

▼ところ 生駒山麓公園野外活動センター(宿泊はふれあいセンター内を予定)

▼内容 1泊2日のキャンプを通して、仲間といっしょに野外での料理や探検、ネイチャークラフトなどに挑戦しましょう。自然の中で子どもたちの自主性や協調性を育みます。

▼定員 男女各50人(抽選制)

▼費用 6000円(市外の方は9000円。宿泊・食費など全て含む)

▼申込み・問合せ 7月9日(火)(必着)までに、はがきに住

所、氏名、性別、学年、電話番号、希望コース(第2希望まで)を書いて、生駒山麓公園「サマーキャンプ」係(T63000243、俵口町2088、☎73-8880)

——1枚のはがきで、最大3人まで申し込みます。複数枚の応募は無効です。

とき 時空を超える「勾玉づく り」と「ふれて民具!?展」

▼対象 市内に住む人(小学生未満は要保護者同伴)

▼とき・ところ 7月20日(土) 10時～12時、北コミュニティセンターI・S・T・Aはばたき

▼内容 生駒ふるさとミュージアム学芸員と昔の装飾品である「勾玉」を作ります。

——当日は、民具を本といっしょに紹介する「ふれて民具!?展」も同時開催します(10時～15時)。展示物は手で触れて体感できる、ハンズオン形式です。



カラフルな勾玉を
手作りします

ン形式です。

▼必要品 汚れてもよい服装

▼定員 30人(抽選制。グループ申込は一組4人まで)

▼費用 一人300円

▼申込み 6月30日(日)までに市ホームページの申込フォームか、市内5図書館・室のカウンターにある申込書を書いて直接提出

▼問合せ 図書館北分館(☎71-3332)

図書館と帝塚山大学の 公開講座

▼とき・ところ 7月23日(火) 10時30分～12時(受付は10時から)、図書館市民ホール

——公共交通機関を利用してください。

▼内容 興福寺貫首の多川俊映さんによる講座「あまねく見る」。私たちの日常を仏教の立場から考え学びます。

▼費用 無料

▼申込み・問合せ 7月16日(火)までに同大学ホームページ「公開講座」の申込フォームか、ファクスに講座名、郵便番号、住所、氏名・ふりがな、電話番号、年齢、性別を書いて、同大学広報課公開



多川俊映さん

みんなで作ろう七夕飾り

▼対象 未就学児とその保護者

▼とき・ところ 7月3日(水) 14時～16時、小平尾南児童館

▼内容 折り紙で簡単にできる七夕飾りを作り、願いを込めて笹に結びつけませんか。

——6月29日(土)～7月6日(土)は、七夕飾りと短冊を設置します。短冊に願い事を書いて、自由に結びつけてください(日曜日は休館)。

▼費用 無料(申込不要)

▼問合せ 小平尾南児童館(☎77-6955)

クロスバー直撃 親子夏休みワークショップ

▼対象 小学生以下の子どもとその保護者

▼とき・ところ 8月4日(日)

13時～16時、芸術会館美楽来

▼内容 小道具作りでは、よしもとナンバーとされる、クロスバー直撃とダンボールでおぼけ屋敷を作ります。牛乳パックを使ったびっくり箱も作ります。

▼必要品 牛乳パック(1000ml)2個、はさみ、カッターナイフ

▼定員 親子20組(抽選制)

▼費用 一組1080円

▼申込み・問合せ 7月9日

(火)14日(日)にファクスかメールに郵便番号、住所、全員の氏名(子どもは学年も)、電話番号、講座名を書いて、芸術会館美楽来講座受付



クロスバー直撃

係(☎74・1101、☎74・1200、✉miraku-info@iko-mashi-sg.jp)

食育のための「親子の料理教室」

▼対象 小学生以上の子どもとその保護者

▼とき・ところ 7月26日(金)

9時30分～13時、セラビーこま

▼内容 生駒市健康づくり推進員の指導による、親子での調理実習と試食

▼必要品 エプロン、三角巾、ふきん、筆記用具

▼定員 15組(抽選制)

▼費用 一人400円

▼申込み・問合せ 7月19日

(金)までに往復はがきに住所、電話番号、保護者の氏名、子どもの氏名・学年を書いて、藤尾庸子さん(〒630010222、吉分町91311、☎77・8451、18時～21時)

山ろく・サマー・スクール

▼対象 小学5年生～中学3年生

▼とき・ところ 7月20日(土)

15時～21日(日)10時、生駒山麓公園野外活動センター

▼内容 みんなでキャンプの基本を学びましょう。ナイフやなたを使い、ちよっと上級なテクニクにも挑戦しませんか。料理や焚き火などキャンプを楽しみましょう。

▼定員 15人(申込順)

▼費用 7000円(保険料など全て含む)

▼申込み・問合せ 6月24日(月)9時から電話で生駒山麓公園(☎73・8880)

「つじまち亭」笑いの口 生駒の囃(はば)を楽しむ会

▼とき・ところ 8月8日(木)18時30分開演(開場は18時)、図書会館

——公共交通機関を利用してください。

▼内容 桂文福さんや林家染雀さん、ラフ次元他が生駒にちなんだ新作ネタを披露します。この会でしか聞けない囃をお楽しみください。

▼定員 80人



桂文福さん

▼費用 1000円(全席自由席)

——入場券は7月6日(土)10時から図書会館、南コミュニティセンターせせらぎ、たけまるホール、北コミュニティセンターI.S.T.A.はばたき、鹿ノ台ふれあいホール、芸術会館美楽来で販売します(電話受付は図書会館で7月13日(土)10時から)。

▼問合せ 図書会館(☎75・5303)

「毛糸のペットボトルカバー」を作りませんか

▼対象 小学4年生以上

▼とき・ところ 7月28日(日)10時～15時、高山竹林園

▼内容 奈良県編針工業協同組合の皆さんの協力と指導による「毛糸のペットボトルカバー」を作る教室。本市特産品の竹製編針を使います。——作品が完成した人から帰れます。昼食は各自で準備してください。

▼定員 15人(抽選制)

▼費用 500円

▼申込み・問合せ 7月5日

(金)までに往復はがきかファクス、メールに、住所、氏名・



カラフルなペットボトルカバーを作ってみませんか

ふりがな、学年、電話番号を書いて、高山竹林園「子ども夏休み編み物教室」係(〒6300101、高山町3440、☎79・3344、☎79・9944、✉takayamatukuri nen@kcj.jp)

暑さを吹き飛ばそう！ 夏の紅白歌合戦

▼対象 市内に住むおおむね60歳以上

▼とき・ところ 7月24日(水)12時～16時、金鶏の杜 倭苑

▼内容 紅白に分かれて優勝を目指す歌合戦。自慢の喉で歌って、笑って、楽しい時間を過ごしませんか。

▼必要品 飲み物

▼定員 30人(申込順)

▼費用 200円

▼申込み・問合せ 6月26日

(水)7月3日(水)に電話か直接、金鶏の杜 倭苑(☎78・3110、火曜日を除く)

夏休みの自由研究に！
サイエンスライブin生駒

▼対象 ①年長児以上②小学3年生以上③小学4年生以上(いずれも要保護者同伴)

▼とき・ところ 8月24日(土)10時～14時30分、コミュニティセンター

▼内容・定員 ①自由工作(申込不要)②科学工作(各10人)③電子工作(各10人)

①～③には種類の異なる講座が4つずつあります。幼児から楽しめる申込不要のブースもあります。詳細はこちらし・市ホームページをご覧ください。



▲詳細はこちら

▼費用 無料

▼申込み問合せ 7月19日(金)(必着)までに応募者一人につき一枚の往復はがきに住所、学校名、児童と保護者の氏名・ふりがな、学年、電話番号、希望の講座名(第3希望まで)を書いて、生涯学習推進連絡会(〒630-0288、東新町8-38、生涯学習課内、内線646)

子どもゆめ基金の助成活動として実施しています。

生駒市一斉地震行動訓練

シェイクアウトいこま参加者募集

緊急速報メール(エリアメール)訓練も同日開催

圃防災安全課(内線255、☎74-1196)



■シェイクアウトいこま

地震が起きたとき、まず自分の身を守ることがたいせつと分かっている、とっさに行動できないもの。そこで、基本動作を1分間でやってみる「シェイクアウト訓練」を市内で一斉に行います。

▶とき・ところ 7月9日(火)10:30から1分間、その時にいる場所

▶訓練方法

次の安全行動1-2-3を実施(約1分間)



1 姿勢を低く 2 頭を守る 3 揺れが収まるまで動かない

▶訓練開始のための準備

訓練の合図は参加する皆さんで準備してください(放送を流す、笛を吹く、ブザーや携帯電話で緊急地震速報の音を鳴らすなど)。

スマートフォンを使用している人は「地震防災訓練アプリ」(無料)に日時を登録すれば、専用ブザー音とメッセージが表示されます。アプリはAppStore、GooglePlayからインストールできます。

▶参加方法と事前登録

自発的な訓練ですが、参加人数の把握のために事前登録をお願いします。事前登録は防災安全課に電話、ファクスか、e古都なら専用フォームから7月9日(火)までに登録してください。



地震防災訓練アプリのアイコン



▲事前登録専用フォームはこちら

■緊急速報メール(エリアメール)の訓練

緊急速報メール(エリアメール)は災害が起こったときや起こりそうなときに、生命に関わる緊急性の高い情報を市内に滞在中の人の携帯電話(対応機種)に一斉配信するサービスです。受信料や月額利用料はかかりません。この緊急速報メールの受信訓練を行います。

▶対象 訓練時に生駒市に滞在している人

▶とき 7月9日(火)10:30

▶訓練方法

- ①携帯電話から専用の着信音が流れる。
- ②市から下記の訓練用災害・避難情報メールが届く(受信確認などの返信は不要)。

メール内容

件名:【訓練】避難勧告

本文:こちらは生駒市役所です。

市内全域に避難勧告を発令します。

命を守る最善の行動をとってください。

このメールは【訓練】です。

▶注意

- ◇この訓練は生駒市のエリア内で行いますが、他の市町との境界付近や通過中の列車・バスなど市内にある携帯電話に配信されます。
- ◇機種によっては、マナーモードでも着信音が出る場合がありますので、音が鳴ってはいけないような場所では、あらかじめ電源を切っておいてください。
- ◇次の場合は緊急速報メールは届きません。

- ・生駒市から離れている
- ・携帯電話が対応機種でない
- ・電源を切っている

ふるーらむ7・8月の教室

フラワー体験教室。初めてでも楽しめます。

▼対象 市内に住むか市内へ通勤・通学している人

▼ところ 花のまちづくりセンターふるーらむ

▼申込み・問合せ 各申込日(必着)までに、はがきか電話、ファクス、メールで住所、氏名・ふりがな、日中連絡のつく電話番号、受講したい教室名を明らかにして、花のまちづくりセンターふるーらむ「7・8月の教室」係(〒630-0122、真弓1丁目11-16、☎70・0187、☎70・0287、✉hanamachi@city.ikoma.lg.jp)

—— 結果ははがきでお知らせします。キャンセル不可

ビーズで作る

ダイアモンドリリー

▼とき 7月26日(金)、10時30分～12時、13時30分～15時

▼内容 コンテリエ・エマの岡本由子さんによる、ビーズフ



ビーズで花を作り、錫の花止めに飾ります

んによる、ろうそくを溶かして好みの型に入れ、プリザーブドフラワーなどで飾ったアロマキャンドルサシェを作る教室(親子での参加も可)

▼定員 各10人(抽選制)

▼費用 2000円

—— 申込時に希望の時間(午前か午後)を明らかにしてください。老眼鏡が必要な人は持参してください。

▼申込み 7月17日(水)まで

親子で作る

ハーバリウムとプラバン

▼対象 市内に住むか市内へ通学している子どもとその保護者(大人だけでの参加も可)

▼とき 7月27日(土)10時～12時

▼内容 フラワーショップ遊花の竹内庸子さんによる、親子でプラバンのアクセサリを作り、ハーバリウムにする教室

▼必要品 持ち帰り用の袋

▼定員 20組(抽選制)

▼費用 3500円

▼申込み 7月17日(水)まで

アロマキャンドル

サシェ作り教室

▼とき 7月31日(水)10時30分～11時30分

▼内容 日本ハーバリウム協会認定講師の松井由美子さ



夏の花を使ったアレンジメントを作りましょう

▼必要品 エプロン、持ち帰り用の袋、花切り用のハサミ(持っている人だけ)

▼定員 20人(抽選制)

▼費用 3000円

▼申込み 7月23日(火)まで

夏休みデコパージュ

せっけん作り教室

▼とき 8月8日(木)10時～12時

▼内容 アトリエ花日記の深津みゆきさんによる、固形せっけんにペーパーナプキンの飾りをつけたオリジナルデコパージュせっけん3個を作る教室(親子での参加も可)

▼必要品 はさみ、ピンセット、石けんが3個入る空箱

▼定員 20組(抽選制)

▼費用 500円

▼申込み 7月23日(火)まで

秋冬の野菜作り教室

▼とき 8月8日(木)13時30分～15時30分

▼内容 緑の相談員の安堂和

夫さんによる、秋冬の野菜作りを土作りと合わせて学ぶ教室。キャベツ苗のプレゼントもあり(飲み物付き)。

▼定員 20人(抽選制)

▼費用 500円

▼申込み 7月23日(火)まで

ライフプラン

セミナーin生駒

▼とき・ところ 7月7日(日)13時～16時40分、コミュニティセンター

▼内容 ファイナンシャル・プランナーが「今からはじめよう!ライフプラン&将来の安心家計」経験してわかった「がん」へのお金の備え方を分かりやすく解説します。—— 体験相談も実施します。

▼定員 40人(抽選制)

▼費用 無料

▼申込み・問合せ 6月26日(水)までに日本ファイナンシャル・プランナーズ協会奈良支部ホームページかファクス、メールに住所、氏名、年齢、電話番号、参加人数を明らかにして、同支部(☎0742・20・0506、☎0742・20・0507、✉nara_b@jafp.or.jp)

生駒市病院事業 推進委員会の 委員を募集

市民の医療ニーズに沿った病院事業の運営を図るために設置している「生駒市病院事業推進委員会」で市民の代表として参加する委員を募集します。

▶**対象** 市内に住む18～74歳(10月10日時点)で、原則平日21:00以降の会議に出席できる人
——国や地方公共団体の議員が常勤の職員、暴力団の構成員やこれに準ずる人、本市で3つ以上の審議会、委員会などの附属機関の委員は応募できません。

▶**内容** 本市の病院事業に関する事項を審議(会議は1年に1回、2時間程度の開催です)。

▶**応募人数** 1人

▶**任期** 10月10日～令和3年10月9日

▶**報酬** 5,000円(会議出席1回につき)

▶**選考方法** 書類選考後、面接で決定

▶**申込み・問合せ** 7月5日(金)(必着)までに応募用紙に「これからの地域医療と生駒市立病院」をテーマにした小論文(1,200文字以内、書式自由)を添えて郵送かメール、直接、地域医療課(〒630-0288 東新町8-38、内線494、hospital@city.ikom.a.lg.jp)

——応募用紙や募集要項は、地域医療課窓口で入手するか、市ホームページからダウンロードしてください。提出された書類は返却しません。

▶**申込み・問合せ** 6月25日(火)10時から直接、TAC井出山スポーツパーク・TACきらめき(☎76・1123、電話受付は25日(火)10時30分から)
——詳細は同施設ホームページか電話で確認してください。

▼**定員** 160人
▼**費用** 500円(全席自由)

▼**内容** ヴァイオリニストの伊東真奈さんとピアニストの田口友子さんによるコンサート。曲目は「ヴァイオリンとピアノのためのソナタ/シユトラウス」、「愛の喜び/クライスラー」他(予定)です。

▼**問合せ** 北コミュニティセンターI S T Aはばたき(☎71・3331)

——入場券は7月14日(日)10時から、北コミュニティセンターI S T Aはばたき、たけまるホール、鹿ノ台ふれあいホール、南コミュニティセンターせせらぎ、芸術会館美楽来、図書館で販売します(電話受付は北コミュニティセンターI S T Aはばたきで7月21日(日)10時から)。

▼**とき・ところ** 8月10日(土)14時開演(開場は13時30分)、北コミュニティセンターI S T Aはばたき小ホール(未就学児の入場不可)
——公共交通機関を利用してください。



伊東真奈さん

スポーツ

スポーツ教室

▼**費用** 無料

▼**問合せ** (二財)生駒市体育協会(☎73・8822)

弓道教室

▼**対象** 市内に住むか市内へ通勤・通学している高校生以上の人(初心者は、初めの3回だけ受け付けます)

▼**とき・ところ** 7月20日・27日、8月10日・17日・24日・31日、9月7日・14日・21日・28日(いずれも土曜日)、9時30分～11時30分、滝寺S.C.弓道練習場(申込不要)

指導

市弓道協会



▼**必要品** 運動着ができる服装(靴下着用)

▼**小学生バレーボール教室**
▼**対象** 市内に住む小学1～6年生(初心者も大歓迎)

▼**とき・ところ** 7月17日・24日・31日、8月7日・14日・21日・28日(いずれも水曜日)、13時30分～16時、滝寺S.C.体育館(申込不要)

▼**指導** 市バレーボール協会

▼**必要品** 運動着、体育館シューズか上靴

▼**対象** 幼児クラス：3歳～年長児に当たる幼児、小学生クラス：小学生

▼**とき・ところ** TAC井出山スポーツパーク夏の短期水泳教室

▼**必要品** 水着(ラッシュガード可)、タオル、飲み物、ゴーグル、水泳キャップ、着替えなど

▼**定員** 各24人(いずれも申込順)

▼**費用** ①4860円②3780円(①は全4回分、②は全3回分、スクール生は①4320円②3240円)

①7月24日(水)～27日(土)、7月31日(水)～8月3日(土)、8月6日(火)～9日(金)、8月20日(火)～23日(金)、8時15分～9時15分

②7月24日(水)～26日(金)、7月31日(水)～8月2日(金)、8月6日(火)～8日(木)、8月20日(火)～22日(木)、12時40分～13時40分、井出山屋内温水プールTACきらめき

▼**内容** 水に慣れるところから背泳ぎまでを指導します。水泳初心者も歓迎します。

▼**必要品** 水着(ラッシュガード可)、タオル、飲み物、ゴーグル、水泳キャップ、着替えなど

**TAC井出山スポーツ
パーク定期教室**

ストレッチをしたり体を動かしたりして心と体をリフレッシュしませんか。少人数制なので初心者でも安心です。

▼対象 16歳以上

▼ところ 井出山体育館

▼必需品 タオル、飲み物、運動できる服装

▼定員 各8人(申込順)

▼申込み・問合せ 6月24日(月)10時から直接、TAC井出山スポーツパーク・TACきらめき(☎76-1123、電話受付は24日(月)10時30分から)

はじめてのヨガ

▼とき 7月1日～9月9日の毎週月曜日、9時30分～10時15分

▼費用 7776円(全9回分)

はじめてのヨガ

▼とき ①7月2日～9月10日の毎週火曜日、13時～13時45分 ②7月3日～9月11日の毎週水曜日、9時30分～10時15分

▼費用 8640円(全10回分)

セルフボディシェイニング

▼とき 7月5日～9月13日の毎週金曜日、9時30分～10時15分

▼費用 8640円(全10回分)

各種会員も募集中

気軽に体を動かせるジムや水泳、ダンスなどの各種教室の会員を募集しています。子どもから大人まで参加可能です。——いづれも詳細は同施設ホームページか電話で確認してください。

自主学習グループ

シニアストレッチ無料体験

▼とき・ところ 6月25日(火)10時～11時30分、図書館(申込不要)

▼内容 腰痛や肩こりの改善や脳梗塞などの予防を目指す体操を行います。

▼必需品 動きやすい服装、飲み物、タオル、マット(バスタオルでも可)

▼問合せ シニアストレッチ みつきくらぶの橋口留美さん(☎050-3699-6060)

費用無料で応援！ **すぐに役立つ実践型カリキュラム**

創業後間もない人、これから創業したい人のための
創業者支援セミナー



「創業に必要なスキルがよく分からない」「開業したけれど何をしたらいいか分からない」。そんな悩みを解決できるセミナーと創業計画の作成やブラッシュアップもできるワークショップを実施します。最終日には、セミナー参加者や先輩起業家との交流会を予定。事業展開に必要な知識やつながりを持てるチャンスです。起業を考えている皆さん、ぜひ参加してみませんか。

- ▶**ところ** 生駒セイセイビル603会議室(10月19日(土)だけ生駒市インキュベーション&テレワークセンター「イコマド」)
- ▶**定員** 30人(抽選制)
——初めて受講する人を優先します。
- ▶**費用** 無料(交流会だけ1,000円が必要)
- ▶**申込み・問合せ** 7月5日(金)までに郵送かファクス、メールで住所、氏名、電話番号、創業予定の内容を書いて、生駒商工会議所(〒630-0257 元町1丁目6-12、☎74-3515、☎74-9185、✉info@ikomacci.or.jp)
——申込用紙は、生駒商工会議所ホームページからダウンロードできます。

セミナーのとき・内容

	とき	内容	講師
1	7月20日(土) 13:30～16:00	経営、ビジネスプランの作成、事業のコンセプト	中小企業診断士の志賀公治さん
2	8月9日(金) 19:00～21:00	販路開拓、マーケティング	中小企業診断士の保延薦さん
3	8月24日(土) 14:00～16:00	事業計画ワークショップ	中小企業診断士の志賀公治さん
4	9月4日(水) 19:00～21:00	財務、会計の知識	税理士の及川健太さん
5	9月18日(水) 19:00～21:00	労務・人材育成	社会保険労務士の井上基子さん
6	10月5日(土) 13:30～16:30	事業計画ワークショップ	中小企業診断士の志賀公治さん
7	10月19日(土) 14:00～16:00 (交流会は16:30～18:30)	創業支援策説明、事業計画発表会、起業家と参加者交流会	日本政策金融公庫・信用保証協会・発明協会担当者、中小企業診断士の志賀公治さん

◇必須カリキュラム(1・2・4・5)を全部受講した人は、今後国などが実施するさまざまな支援を受けられる証明書を市から渡します。

シャンソンを一緒に

▼とき・ところ 7月10日(水)
12時30分～14時30分、たけまるホール

▼内容 プロの歌手とピアノの指導でいっしょに歌いませんか。

▼費用 無料(申込不要)

▼問合せ シヤンテ・シヤンテの八尾祥子さん(☎75・8991)

心豊かにシャンソンを

▼とき・ところ 7月16日(火)
13時～15時、たけまるホール

▼内容 優しい指導で、シャンソンを楽しみましょう。

▼費用 無料(申込不要)

▼問合せ ルミエールの会の川野恵子さん(☎0742・464875)

銭太鼓体験学習

▼とき・ところ 7月14日(日)
12時30分～14時、たけまるホール

▼内容 5円玉が入った筒2本を振りながら踊ります。

▼定員 15人

▼費用 無料(申込順)

▼申込み・問合せ 6月28日

(金)7月12日(金)に電話で生駒銭太鼓の長尾順子さん(☎25・5586)

初心者の方の採り方体験

▼とき・ところ 7月16日(火)
13時～16時30分、たけまるホール

▼内容 墨の芸術「拓本」の採り方実習と表装作業の見学

▼費用 無料(申込不要)

▼問合せ 生駒拓美会の横田正典さん(☎74・1561)

河内音頭踊りの無料講習会

▼とき・ところ 7月10日(水)
15時～16時、たけまるホール(申込不要)

▼内容 本場八尾市の先生の指導で初心者も楽しめます。

▼問合せ 河内音頭生駒榮会の井元英和さん(☎090・74994660)

盆踊り無料講習会

▼とき・ところ 7月5日(金)
12時30分～14時30分、たけまるホール(申込不要)

▼内容 盆踊りの楽しい講習会です。

▼問合せ 楽踊会の田中明子さん(☎76・8559)

ストレス解消カラオケ

▼とき・ところ 7月19日(金)
13時～17時、東旭ヶ丘
——詳しい場所は、申込時にお伝えします。

▼内容 懐かしい歌や新しい歌を歌います。曲目は「乱れ月」恋散らしの雨」など。

▼定員 15人(申込順)

▼費用 1000円

▼申込み・問合せ 6月24日(月)～7月4日(木)に電話で歌唱絆の会の佐脇正純さん(☎74・2535、9～12時)

社交ダンスは楽しい

▼とき・ところ 6月29日(土)
14時30分～17時、図書会館

▼内容 楽しい社交ダンスの講習会

▼必需品 ダンスシューズか上靴、飲み物

▼費用 無料(申込不要)

▼問合せ グレースの笠井敏雄さん(☎090・5663・6965)

社交ダンスの体験学習会

▼とき・ところ 7月14日(日)
9時～12時、図書会館

▼内容 初めて社交ダンスを

する人向けの体験学習会

▼必需品 ダンスシューズか上靴

▼費用 無料(申込不要)

▼問合せ 生駒ダンス「さくらんぼ」の佐藤健治さん(☎78・5357)

健康



RAKURAKUはつす健康体操

▼対象 市内に住むおおむね60歳以上

▼とき・ところ 7月20日(土)
14時～15時、RAKURAKUはつす

▼内容 椅子を使用した体幹を鍛える準備運動から、タオルを使って自宅でも簡単にできる筋力アップ運動を行います。

▼必需品 動きやすい服装、タオル、バスタオル、上靴、飲み物

▼定員 30人(申込順)

▼費用 無料

▼申込み・問合せ 6月28日(金)～7月19日(金)に電話か直接、RAKURAKUはつす

す(☎73・8778、10時～16時、休館日を除く)

生駒市立病院の公開医療講座7月開催

▼ところ 生駒市立病院

▼とき・内容
◇7月10日(水)14時～15時：管理栄養士の森祐美子さんによる講演「夏バテ予防の食事について」

◇7月26日(金)15時～16時：健診センター長の辻野高史さんによる講演「高血圧について(診断基準が変更になりました)」

▼定員 50人(当日先着順)

▼費用 無料

▼問合せ 同院医療講座係(☎72・1111)

食中毒予防講習会

▼とき・ところ 7月10日(水)
14時～15時30分、コミュニティセンター

▼内容 郡山保健所衛生課職員による講演「食中毒予防について」

▼定員 60人

▼費用 無料(申込不要)

▼問合せ 健康課(☎75・2255)

お知らせ版

イコマニア

イベント・講座

スポーツ

自主学習

健康

福祉

子育て・教育

環境・エコ

お知らせ

福祉



介護予防教室

▼対象 おおむね65歳以上の高齢者やその家族

▼とき・ところ 7月22日(月) 13時～15時、阪奈中央こぐま園(俵口町)

▼内容 行政書士による終活セミナー「エンディングノートを書いてみよう」

▼必要品 筆記用具、上靴、飲み物、介護予防手帳(持っている人だけ)

▼費用 無料

▼申込み・問合せ 7月19日(金)までに電話で生駒市阪奈中央地域包括支援センター(☎73・9448)

▼発達障がい当事者の紙芝居プレゼンテーション

▼対象 発達障がい者当事者とその家族、興味のある人

▼とき・ところ 6月29日(土) 13時～15時30分、たけまるホール

▼内容 広島県福山市の大人の発達凸凹自助グループ「ついでに」代表で当事者でも

ある、よつばとさんの講演会「思いの他 自然な感じ」。終了後には自由参加の交流会もあります。

▼定員 30人(申込順)

▼費用 1000円(中学生以下と障害者手帳を持っている人は無料)

▼申込み・問合せ 6月24日(月)から電話かファクス、メールで住所、氏名、年齢、連絡先を明らかにして、nabe成人発達障害自助会ペーミン

ト(☎090・9618・5827、☎78・4052、✉ada215na@kcn.jp、電話は20時30分～22時)

▼難病ピアサポーター養成講座

▼対象 指定難病の患者やその家族で全講座を受講できる人(受講後、県内のピアサポーターに登録し活動協力が必要。年度毎に継続の意向を確認します。全講座受講者には修了証を交付します)

▼とき・ところ 7月22日(月)、9月9日(月)、10月23日(水)、12月9日(月)、12時40分～15時、郡山保健所(大和郡山市満願寺町)

▼内容 東大阪大学短期大学部介護福祉科教授の梓川一さんによるピアカウンセリングの実践方法を学ぶ教室です。

▼定員 40人(申込順)

▼費用 無料

▼申込み・問合せ 7月16日(火)までに電話で奈良県難病相談支援センター(☎0743・510197)

子育て・教育



「ちどりであそぼ」の子育て講座

▼対象 市内に住む就学前の乳幼児とその保護者

▼とき・ところ 7月11日(木) 10時～11時、いちぶちどり保育園

▼内容 「うちわを作ろう」

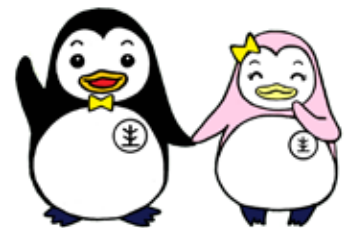
▼定員 15組(申込順)

▼費用 無料

▼申込み・問合せ 6月27日(木)10時から電話かファクス

で子どもの氏名・年齢、電話・ファクス番号を明らかにして、同園(☎76・2400、☎76・2401)

犯罪や非行のない地域にするために 社会を明るくする運動を 進めています



マスケットキャラのホゴちゃんとサラちゃん

「第69回社会を明るくする運動」では、「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をテーマに掲げて全国的に活動を行っています。本市でもこの運動を広げるため、推進委員会を構成し、次の取組を進めています。

■生駒市社会を明るくする運動推進委員会の構成団体
生駒市、生駒市教育委員会、生駒市保護司会、生駒市地区更生保護女性会、生駒警察署、生駒警察署少年補導員協会、生駒市子ども会育成連絡協議会、生駒市自治連合会、生駒市青少年指導委員会、生駒市地域婦人団体連絡協議会、生駒市PTA協議会、生駒市民生児童委員連合会、生駒市社会福祉協議会

■委員会の活動内容

社会を明るくする運動の協調月間である7月に、次の活動を行います。

◇7月7日(日)11:00～12:00、生駒駅前街頭啓発(市民吹奏楽団による演奏もあります)

◇7月1日(月)・31日(水)9:30～12:00、パトカーの先導による市内巡回パトロール

◇小中学生に向けた作文コンテストを実施

▶問合せ 生駒市社会を明るくする運動推進委員会(☎75-0234、社会福祉協議会内)



皆さんの力で明るい社会を実現しましょう

市税コーナー

平成31年度の国民健康保険税の納税通知書を7月に送ります

平成31年度の税率は、課税限度額が89万円から93万円へ引き上げとなります。

国保税とは、国保に加入している世帯の世帯主に課税される税金で、家族だけが国保に加入している場合でも、世帯主に納税の義務が生じます。4～翌年3月の1年間の国保税を、普通徴収(納付書か口座振替)の世帯は7～翌年3月の9回に分けて納めてもらいます。特別徴収(年金からの差し引き)の世帯は、4・6・8・10・12・翌年2月に支給される年金からの差し引きです。ただし、10月の公的年金受給分から特別徴収が始まる世帯は、7～9月は普通徴収での納付、10・12・翌年2月が特別徴収となります。

▶注意 社会保険などに加入していて国保の脱退手続きが済んでいない人は、至急届出をしてください。この届けがないと、二重に健康保険に加入していることとなります。手続きには、対象になる全ての人の国保と職場の保険証が必要です(郵送での手続きも可)。

☎国保医療課国保係(内線782)

■ATMやインターネット、スマートフォンで納付できます

生駒市税を、インターネットバンキングやATMで納付できる「Pay-easy」やスマートフォン決済アプリも利用できます。



☎収税課(内線297)

税目	6	7	8	9
市・県民税(普通徴収)	1期 全期前納 7/1		2期 9/2	
固定資産税 都市計画税		2期 7/31		
国保税(普通徴収)		1期 7/31	2期 9/2	3期 9/30

6月は市・県民税の納付月です
～納期限(7月1日/月)までに納付してください～

▼問合せ 同委員の中村幹雄さん(☎78・2583)
この事業は生駒市北第一地区民生・児童委員協議会の主催で行います。

▼費用 無料
映画鑑賞入場整理券は、7月7日(日)10時～16時に同センター201セミナー室で配布します。(一人3枚まで。先着順)

▼定員 450人
のパネル展示など

▼内容 映画「ボス・ベイビー」の鑑賞会や民生・児童委員による「パネルシアター」上演、おもちゃ病院、プレスレット手作り工房、委員活動のパネル展示など

▼対象 生駒北・真弓・あすか野小学校区の小学生以下の子どもとその保護者

▼とき・ところ 7月27日(土)13時30分開演(受付は13時から、ブースは12時30分～16時)、北コミュニティセンターI S T Aはばたき

子育て支援「親子サマーフェスタ映画鑑賞会」

▼問合せ こども課(内線776)
人を指します。

児童手当現況届の提出は6月28日(金)まで

児童手当は、中学校修了前の児童を養育している人に支給しています。

▼受給中の人 6月以降も引き続き受給するには、6月初めに郵送した書類を確認し、6月28日(金)(必着)までに電子申請か郵送、直接、こども課へ現況届を提出してください。

――現況届は、児童の養育状況や前年の所得などを確認し、6月以降の受給資格の確認や支給金額を決定する

るための届けです。提出しなかった場合は、受給資格があっても6月以降の手当を受給することができません。

▼受給していない人 児童手当の申請書と添付書類を提出してください(申請書は、こども課にある他、市ホーム

児童手当の額

〈所得制限限度額未満の人〉

区分	支給額(月額)
3歳未満	1万5,000円
3歳以上小学校修了前(第1子・第2子)	1万円
3歳以上小学校修了前(第3子以降)	1万5,000円
中学生	1万円

〈所得制限限度額以上の人〉

区分	支給額(月額)
0歳～中学生	5,000円

児童手当所得制限限度額(単位:万円)

扶養親族などの数	所得制限限度額	収入額の目安
0人	622	833.3
1人	660	875.6
2人	698	917.8
3人	736	960.0
4人	774	1002.1
5人	812	1042.1

◇実際の適用は所得額で行います。収入額は目安の額です。

ページからダウンロードできます。手当の支給は請求月の翌月分からとなります。手続きが遅れると受けられるはずの月分の手当を受けられなくなりますので注意してください。

▼児童手当の額 左表を参照

▼注意 公務員は所属庁から支給されますので勤務先で手続きしてください。

◇児童手当の所得制限区分の「第3子以降」は、高校卒業(18歳の誕生日後最初の3月31日)までの養育している児童のうち、3番目以降の

おっぱい相談会の詳細

とき	対象の赤ちゃん	申込開始日
7月18日(木)	2019年3月～ 6月生	7月 4日(木)
8月20日(火)	2019年4月～ 7月生	8月 6日(火)
9月10日(火)	2019年5月～ 8月生	8月 27日(火)

◇いずれも時間は10:00～11:30、申し込みは申込開始日の10:00から受け付けます。

ママとベビーのおっぱい相談会

出産後、感じる授乳の不安や心配を助産師に相談してみませんか。
生後1か月から参加でき、月齢が同じくらしいの赤ちゃんがいるお母さんと交流できます。

- ▼対象 市内に住む生後1～4か月の乳児とその母親。直接、授乳状況を確認することがありますので、参加は母親に限定。マッサージなどの直接的な手技は行いません。
- ▼ところ セラビーいこま
- ▼内容 助産師による授乳相談・体重測定・交流会など
- ▼必需品 母子健康手帳、パスポート、おむつや着替えなど
- ▼定員 各5組(申込順)

- ▼費用 無料
- ▼申込み・問合せ 電話で健康課 マタニティコンシェルジュ ☎75・1175
- ▼みつきランド・はばたきみつきを利用しませんか
- ▼みつきランド・はばたきみつきは子育て中の親子が好きなときに遊んだり、悩みを語り合える場所です。子育てアドバイザーに相談もできます。
- ▼対象 市内に住む0～2歳児とその保護者
- ▼費用 無料(自由参加)
- ▼みつきランド
- ▼開催日 月～日曜日の10時～16時(第3金曜日、祝日、年末年始を除く)
- ▼ところ 生駒セイセイビル 3階
- ▼問合せ みつきランド ☎75・2111
- ▼はばたきみつき
- ▼開催日 火～金曜日の10時～12時、13時～16時(午前午後入替制、第3金曜日、祝日、年末年始を除く)
- ▼ところ 北コミュニティセンター I.S.T.A はばたきみつき
- ▼問合せ はばたきみつき ☎71・3301

親子の絆きずなづくりプログラム

▼対象 市内に住む、平成31年3月1日～令和元年6月1日生まれの第1子とその母親で、全日程に参加できる人

▼とき・ところ 8月1日(木)・8日(木)・15日(木)・22日(木)、13時30分～15時30分、子育て支援総合センター

▼内容 初めての子育てで感じる悩みや喜びを共有しましょう。子育ての知識を学び、仲間づくりもできます。

▼定員 16組(抽選制)

▼費用 無料(初回に別途テキスト代1080円が必要)

▼申込み・問合せ 7月11日(木)(必着)までに市ホームページの申込フォームかはがきに住所、母親と子どもの氏名・ふりがな、年齢(子どもは生年月日)、電話番号を書いて、同センター「親子の絆づくり」係(〒630-0257、元町1丁目6-12、☎75・5582)



親子の絆を育もう

一人ひとりの正しい知識と適切な行動で

熱中症は予防できます

熱中症は梅雨が明ける7月から急増しますが、真夏だけでなく暑ければいつでも起こる危険があります。梅雨の中休みや残暑の時期も油断は禁物。中でも、急に暑くなる日は、身体が暑さに慣れておらず注意が必要です。

☎健康課(☎75-2255)



熱中症予防の声かけの輪を広げていく。熱中症予防声かけプロジェクトに賛同しています。

■熱中症は防げる気象災害です

熱中症は、水分や栄養をとったり、部屋を涼しくしたり、休憩をとったりすることで防げます。熱中症になりやすいのは、高齢者や子どもたち。「ちょっと、ひと涼みませんか?」「水分とってる?」「少し休んだほうが良いよ」など、声をかけ合って熱中症を防ぎましょう。

■「暑さ指数」をチェック

市ホームページに、現在の奈良県内の暑さ指数や暑さ指数の活用方法、緊急時の問合せなど、熱中症対策について掲載しています。



▲暑さ指数の確認はこちら

■熱中症が疑わしいときは

- 涼しい場所へ移動する
- 衣服を緩めて休む
- 体を冷やす
- 水分・塩分を取る
- 医療機関へ運ぶ
- まずは実践!

環境・エコ



もったいない食器市で
リユース食器を販売します

▼とき・ところ

◇7月4日(木)13時～15時、南
コミュニティセンターせせ
らぎ

◇7月18日(木)13時～15時、北
コミュニティセンターI
STAはばたき

▼内容

陶磁器製やガラス製の食器を毎月配布する「もったいない食器市」。7月はリユース食器の販売も行います(ディアーズコープいこま開催分を除く)。

——営利を目的とした購入はできません。

▼販売価格 1点100円～1000円程度

▼問合せ 環境保全課(内線356)

正しい理解で虫対策

蜂

巣を刺激しない限りほとんど攻撃してきません。蜂の駆除は本市では行いませんので各自でお願いします。

▼駆除の方法

◇動きがぶくなる夕方以降に行います。懐中電灯などの使用は避けてください。

◇市販の蜂専用のスプレー式殺虫剤で、蜂が巣から落ちるまでスプレーしてください。飛び立った蜂も薬剤がかかっていれば死にます。

◇スズメバチは、駆除に危険が伴うため駆除業者への依頼をお勧めします。業者に依頼する場合、補助金の対象となる場合がありますので、依頼する前に環境保全課に相談してください。

◇蜂の駆除後、巣に蜂がいないことを確認してから除去してください。1～2日は巣に戻らなかった蜂が戻ってくる場合がありますので注意してください。戻ってきた蜂は、同様に夕方以降、殺虫剤をスプレーしてください。除去した巣は、踏みつぶした後、ごみとして処分してください。

◇アシナガバチ・スズメバチは翌年も同じ巣を利用するこ



スズメバチ



スズメバチの巣

とはありません。11月下旬以降にはほとんどいなくなりま

◇駆除時の服装は、肌を露出せず、厚手の白っぽいものを着用してください。なお、環境保全課では無料で蜂用防護服を貸し出しています。

■セアカゴケグモ

強い神経性の毒を持っていますが、攻撃性のないおとなしいクモで、触らない限りかまれることはありません。

▼生息場所

日当たりが良く暖かいところ、乾燥したところ、昆虫などの餌が豊富にあるところ、排水溝やグレーチング、フェンスの基礎部など

▼駆除の方法

素手で触らず、殺虫剤をかけるか靴で踏み潰してください。卵は踏み潰すか焼却してください。

▼もしかまれたら 患部を水で洗い、病院で治療を受けてください。

▼その他の注意点 庭の手入

れは手袋をしてください(クモの毒牙は0.5㎍)。

■ユスリカ

側溝や水路周辺などに多く集まり、柱状に飛んでいる蚊に似た虫がユスリカです。蚊と違い、人の血は吸いません。幼虫は溝などの泥に生息し、基本的には益虫であると考えられています。不快な場合は、家の周辺や卵を除去しましょう。

なお、蚊やユスリカの発生源である溝などに薬剤を散布すると、下流の生物や植物の生態系に悪影響をもたらすおそれがありますのでやめましょう。

▼問合せ 環境保全課(内線373)

お知らせ



日本語学習支援

ボランティアを募集します

本市では、外国人も暮らしやすいまちづくりを目指し日本語教室を実施しています。学習は外国人とボランティアがペアになり個別で実施。希望する外国人の増加に伴い、随時ボラン

ティアを募集しています。——ボランティア保険には市で加入します。

▼とき・ところ

◇北コミュニティセンターI STAはばたき…木曜日の18時30分～20時

◇図書会館…土曜日の18時～19時30分

——原則、年間36回開催ですが、お互いの調整次第で欠席も可能です。

▼内容

日本語学習を希望する外国人向けの学習支援ボランティア。初心者でも海外の生活や文化に触れられる取組です(見学は随時受付中)。

——謝礼や交通費は支給されません。

▼申込み・問合せ 人権施策課(内線656)

「ゆうドキッ！」放送中

奈良テレビ放送で放送している「ゆうドキッ!」。毎週金曜日18時30分からは、県内各市の情報を紹介しています。

▼生駒市が紹介される6月の放送日 28日

▼問合せ 広報広聴課(内線224)

お知らせ

イコマニア

イベント・講座

スポーツ

自主学習

健康

福祉

子育て・教育

環境・エコ

お知らせ

選挙人名簿・在外選挙人名簿の 閲覧状況を公表します

選挙管理委員会事務局(内線344)

平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)の選挙人名簿・在外選挙人名簿の閲覧状況を、公職選挙法の規定に基づき、下表のとおり公表します。

▶閲覧できる条件

- ◇選挙人が選挙人名簿・在外選挙人名簿の登録を確認する場合
- ◇公職の候補者や政党・政治団体などが政治活動を目的とする場合
- ◇政治や選挙に関する調査研究を目的とする場合

選挙人名簿の閲覧状況

閲覧日	閲覧申出者	利用の目的	閲覧の範囲	閲覧日	閲覧申出者	利用の目的	閲覧の範囲					
5/7	(株)地域未来研究所代表取締役赤田浩志(大阪市区北区堂島1丁目5-17)	「平成30年度県民アンケート調査」の対象者抽出	386人	9/7	(一社)共同通信社社長 水谷亨(東京都港区東新橋1丁目7-1)	「日本世論調査会 面接世論調査」の対象者抽出	【12】12人 【22】12人					
5/15・18・22～25・31	沢田かおる(軽井沢町4-5)	後援会名簿の整理、選挙運動用はがき送付	1,790人	9/11・12	(株)長大奈良事務所 所長 細川剛志(三郷町立野南2丁目10-7)	平成30年度「なら健康長寿基礎調査」の対象者抽出	805人					
6/4・5・8・11・12・19・22・25・7/3・9・10・13・17・19			462人	10/17・19・22～26・29～31、11/7～9・12～15・19・21・22・26・27	佐藤光紀後援会代表者 佐藤光紀(小明町556-3)	後援会名簿の整理、選挙運動用はがき送付	11,201人					
9/10・11・14・18～21・25～28			1,410人	12/6・7・10～12・14・17・18・20・21・25～27				9,926人				
10/11・15～19・22～26・29～31			1,908人	1/22・24・30				550人				
12/6・7・10～14・17～21・25～27			1,583人	2/8・20・28				400人				
1/8・10・15・16・18・21・23・29・31			1,136人	3/5・18				150人				
2/5・7・8・12・14・15・18・19・25・26			1,545人	10/18				読売新聞東京本社編集局世論調査部世論調査部長 吉山一輝(東京都千代田区大手町1丁目7-1)	「全国の有権者を対象に実施する世論調査」の調査対象者抽出	【22】45人		
3/11・12・14・15・18			866人	11/15・16・29・30				粒谷友示(俵口町1315)	「後援会名簿の整理」	6,533人		
7/2～4・9・10・12・13・17～20・23・27・30・31、8/1・6・7・9・20～24・27～31			日本共産党北和地区委員会代表者 船木裕作(大和郡山市小泉町2234-49)	選挙運動用はがき送付、後援会名簿の修正				11,586人	12/10	(株)日本リサーチセンター代表取締役 鈴木稲博(東京都中央区日本橋本町2丁目7-1)	「新しい嗜好品と価値観や社会的地位に関する調査」の調査対象者抽出	【15】7人 【36】7人 【37】7人
8/16			(株)地域社会研究所代表取締役社長 大橋浩(京都市中京区蛸薬師通)	平成30年度「奈良県結婚・子育て実態調査」の調査対象者抽出				676人	1/23・24	片山誠也(北大和3丁目9-12)	後援会名簿の整理	624人 103人
9/6	毎日新聞社代表取締役社長 丸山昌宏(東京都千代田区一ツ橋1丁目1-1)	「政治・選挙などに関する世論調査」の調査対象者抽出	【30】11人	2/18～21・25・26				坂本雅洋(俵口町1223-2 ラウンドヒルズ542)	選挙運動用はがき送付	2,615人 858人		
				3/20	成田智樹(東松ケ丘7-1-408)	選挙運動用はがき送付	303人					

◇在外選挙人名簿の閲覧はありませんでした。
◇閲覧の範囲の【】内の数字は投票区の番号です。

7月のし尿くみ取り予定表

▶注意 これは浄化槽のくみ取り予定表ではありません。転入、転出などで人数が変わったり、くみ取りを開始・中止したりする場合は、申請が必要です。7:00から順次くみ取ります。



圃環境保全課(内線355)

とき	1 班	2 班
1日(月)	高山町	秋津、小平尾町
2日(火)		小平尾町、東山町
3日(水)	傍示	小平尾町
4日(木)		小瀬町
5日(金)	庄田	萩の台、萩原町
6日(土)		萩原町
8日(月)		萩原町、藤尾町
9日(火)	大北	鬼取町、大門町
10日(水)		鬼取町、西畑町
11日(木)	久保	有里町、菜畑町、西畑町
12日(金)		有里町
13日(土)	宮方	有里町、壱分町
16日(火)		壱分町
17日(水)	上町	中菜畑1丁目、西菜畑町
18日(木)	芝	中菜畑2丁目、東生駒、緑ヶ丘、東菜畑1・2丁目
19日(金)	北田原町、鹿畑町	軽井沢町、新旭ヶ丘、西旭ヶ丘
20日(土)	北田原町	西旭ヶ丘、東旭ヶ丘
22日(月)	南田原町	山崎町
23日(火)	南田原町、松美台、新生駒台	辻町
24日(水)	小明町、桜ヶ丘	谷田町
25日(木)	俵口町	谷田町、東新町、本町、元町1・2丁目
26日(金)	俵口町、東松ヶ丘	仲之町、山崎新町
27日(土)	西松ヶ丘、喜里が丘	
29日(月)	門前町	北新町
30日(火)		
31日(水)		

- ▼内容 キャッシュレス化の動向やキャッシュレス・消費者還元事業の概要、個別相談会などを話します。
- ▼定員 90人(申込順)
- ▼費用 無料
- ▼申込み・問合せ 7月4日

10月からの消費税増税に伴い実施される「キャッシュレス・消費者還元事業」。そうした地域活性化の取組を支援するために市内事業者への説明会を実施します。

▼とき・ところ 7月5日(金) 15時～17時、コミュニティセンター

キャッシュレス・消費者還元事業説明会

平成30年度の法令遵守推進制度の運用状況

市は、さまざまな意見や要望などを積極的に受け止め、市政の運営に生かすだけでなく、公正な職務の執行を確保するため、法令遵守推進制度を運用

しています。この制度により、市職員が口頭で受けた要望などを記録に残し(右図)、その概要を公表しています。

◆運用状況(平成30年4月～平成31年3月)

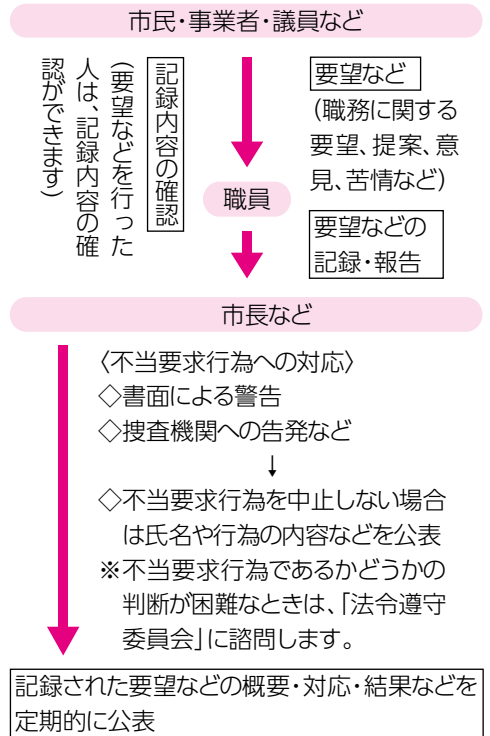
◆要望などの件数：113件
(うち不当要求行為0件)

◆公益目的通報の件数：0件
—詳しくは、市役所(総務課、市政情報コーナー)、市ホームページでご確認ください。



国が行う事業の正しい知識を身につけよう

口頭で受けた要望などの記録・公表の流れ



▼問合せ 総務課(内線263)

運転免許証の自主返納を考えてみませんか

相次ぐ高齢者が関係する交通死亡事故を受け、運転免許の自主返納が注目されています。「運転中にヒヤリとすることが多くなった」「最近、見落としや操作ミスが増えた」など、運転に不安を感じる人やその家族は「高齢者運転免許自主返納制度」を考えてみませんか。

住所地在管轄する警察署などに運転免許証を返納した人は、「運転経歴証明書」の申請・交付を受けることができ、公的な身分証明書として生涯使うことができます。また、県内の支援事業所で提示すると、交通機関や店舗で割引などの支援が受けられます。

—支援制度の内容は、奈良県警や市のホームページをご覧ください。

▼問合せ 生駒警察署(☎74・0110)、運転免許センター(奈良県橿原市葛本町1-20-3、☎0744・22・5541)

せいすい 生水だより



レモン汁を数滴入
れてもおいしいよ

令和元年6月号
No.62

上下水道部ホームページは、市ホームページから「生駒市水道事業」へアクセス
☎上下水道部総務課(☎79-2800)

生駒の水道水を飲んで

熱中症を防ごう

こまめな水分補給で 熱中症予防

人は生活しているだけでも、1日に2.5ℓもの水分を失っているといわれています。水分が不足すると、熱中症や脳梗塞、心筋梗塞などのリスクの要因となるので、定期的な水分補給がたいせつです。

これからの季節、熱中症の発症がピークを迎えます。熱中症予防に欠かせないのは「暑さを避けること」と「こまめな水分補給」。屋外で活動するときだけでなく、室内にいるときも、のどの渇きを感じる前に、こまめに水分を補給しましょう。

もっとおいしく

水道水を飲むためのコツ

水道水は、安全性を確保するため、塩素による消毒が法律で義務づけられています。しかし、気温が高くなる夏は、水道水の

温度も上昇し、塩素のにおいを感じやすくなります。

気になるときは、水道水を冷蔵庫で10〜15℃に冷やしてください。塩素のにおいがやわらぎ、よりおいしく飲めます。生駒の水道水を飲んで、夏の暑い時期を乗り切りましょう。

水分補給の強い味方 給水スポット & 水飲み場

店を利用すると、無料で水道水をマイボトルに入れてもらえ

バルテラスいこまの水飲み場で水を飲んで...



ちよっぴー休み

る給水スポット協力店が市内に23店舗あります。その他、6か所の公共施設には冷たい水道水が飲める水飲み場を設置。ハイキングなどのお出かけ時にぜひ、利用してください。



▲場所などはこちらで確認

生駒の水道事業NEWS

☎水道事業お客様センター
(☎79-2800)

NEWS 1 水道使用者が変わった時は 忘れず名義変更の届出を

水道の使用者(名義人)が引越するか、亡くなるなどで、その水道を家族が引き続き使うときは、名義変更の届出が必要です。また、口座振替納付を利用している場合は、別途取引する金融機関へ変更の手続きをお願いします。

NEWS 2 水道事業に関する アンケートにご協力ください

給水スポットなどに関することや水道水についての意見を求めるために水道メーター定期取替時にアンケートを行っています。回答にご協力をお願いします。

水道料金の支払いには口座振替が便利です

口座振替にすると、コンビニや金融機関窓口などに行く必要がなく、払い忘れも防げて便利です。また、口座振替は納入通知書などに使う紙資源の削減もできます。皆さんの口座振替のご利用をお願いします。

他にも、納付書払いの人は、コンビニや金融機関窓口でのお支払いに加え、スマートフォン決済アプリ「LINE Pay請求書支払い」や「Pay B」、

「り」で水道料金が支払えます。納付書や通知書に印字の「コンビニ収納用バーコード」をスマートフォンで読み取ると、アプリに事前に登録した金融機関口座などから即時に料金が引落とされ、納付可能です。ぜひ利用してください。納期内納付にご協力よろしくお願いします。

▶問合せ 水道事業お客様センター(☎79-2800)



5/10(金)

自分のカメラで思い通りの撮影を

芸術会館美楽来

プロの写真家による写真教室を開催しました。参加者は持参した自分のカメラで実習しながら、写真の明るさの変更や背景をぼかす方法、被写体の配置などの講義を受講。人物写真撮影のコツなど、思い通りの撮影をするための質問が飛び交うほど盛り上がりを見せました。



4/18(木)

鹿ノ台に5000本のチューリップ

鹿ノ台西3丁目

鹿ノ台の緑地整備を行うECOKA委員会が育てたチューリップが咲くオープンガーデンに鹿ノ台小学校3年生が訪れました。子どもたちは、鮮やかな色彩のチューリップ5,000本を前に大喜び。同会の山田勲さんは、「来年は8,000本を目標に育てます」と話しました。



5/12(日)

ワークショップで自然に親しむ一日

花のまちづくりセンターふろーらむ

「第15回花・緑まちづくりフェスタinふろーらむ」に約1,800人が来場しました。木や花を使ったワークショップブースや模擬店は行列ができるほどの盛況ぶり。切り株を使ったタペストリー作りでは、木の実や花びらを並べ思いの作品作りを楽しむ姿が見られました。



4/22(月)

インターネットのルールを学ぼう

鹿ノ台中学校

同校1年生88人がインターネット上に写真を公開する時の注意点をLINE(株)のスタッフから学びました。複数人が写った写真を見ながら公開できるかを討論。参加した大場さんは「公開したくないと思う人もいるので、事前にみんなの同意が必要だと分かりました」と話しました。



5/16(木)

「你好。」来日した中国の小学生と交流

生駒南第一小学校

中国から小学2年生29人が来日し、同校で国際交流を行いました。書道の授業では、同校5年生38人と毛筆で日本語を練習。身振り手振りでひらがなを教えた大内翔太さんは「お互いが話せる英語を使って、何とか言いたいことが伝えられました」と振り返りました。



4/26(金)

サロンを通じて広がる親子の輪

南コミュニティセンターせせらぎ

ボランティア団体「かるがもの会」が開くサロン「かるがものおへや」に22人が参加しました。歌や手遊び、おもちゃを通して親子が交流。参加した谷村美由紀さん・優衣さん親子は「スタッフの皆さんがいつも優しく声をかけてくれ、ほっとできる場所ですね」と笑顔を見せました。



生駒で採れた旬の農産物
を使ったレシピを紹介
園農林課(内線336)

{ 新玉ねぎの万能だれ 鶏むね肉のソテー }

作り方(所要時間:約20分)

- 1 新玉ねぎを半分に切って芯を取る。その後、スライサーなどを使い、繊維に沿って薄くスライスする。
- 2 ①を器に入れて☆を加える。玉ねぎからとろみが出て、しんなりするまで置くと万能だれが完成。
- 3 鶏むね肉を厚さが1cmになるように切り、塩こしょうをふる。小麦粉をまぶして、サラダ油(分量外)をひいたフライパンでこんがり焼く。
- 4 ③を皿に盛り②をたっぷりかけて完成。

材料(2人分)

- 【鶏むね肉のソテー】
鶏むね肉 …1枚(約300g)
塩・こしょう…少々
小麦粉…適量
- 【万能だれ】
新玉ねぎ…1個
☆2倍濃縮めんつゆ …50ml
☆サラダ油 …大さじ1

シャキッと食感が楽しい火を使わない万能だれ
今回は疲労回復に効果があるとされる「鶏むね肉」のソテーに、生でもおいしい旬の新玉ねぎをたっぷり使ったたれをかけた。たれは火を使わず、気軽に作れる一品です。
たれは、豚肉や魚、豆腐にもぴったり。これからの季節によく使用するめんつゆを使ってお手軽レシピをぜひお試しください。

今月の食材は…
新玉ねぎ



■生駒ふれあい朝市開催中

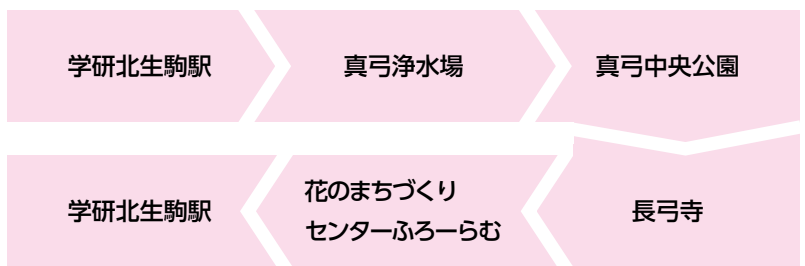
- ▶とき・ところ 7月1日(月)・15日(月)、9:00から(なくなり次第終了。毎月第1・3月曜日に開催)、JAならけん生駒支店
- ▶内容 市内で採れた新鮮野菜などの販売

歩いていこまめぐり

市内を24のコースに分けて紹介する「生駒健康ウォーキングマップ24」から毎月1コース紹介。街並みを楽しみながら健康づくりをしませんか。
園健康課 ☎75-2255

花や緑を感じながら北生駒を散策 真弓・上町を巡るコース

学研北生駒駅から真弓の住宅街を抜け、上町を通る約3.5kmのコース。直線が多く、見通しが良い整備された道なので、歩きやすいコースです。花のまちづくりセンターふるーらむに寄ると、季節ごとの花を楽しみながら休憩できるカフェスペースもあります。



真弓中央公園の池ではアヒルに出会えます



国宝の長弓寺。本堂は、鎌倉時代に建てられました



ふるーらむでは花に囲まれながらお茶でまったり

花々が出迎えてくれるふるーらむやお参りができる長弓寺も楽しめますよ

詳しいコースは、市ホームページに掲載する「生駒健康ウォーキングマップ24」をご覧ください。今回のコース番号は7です。
— 同マップは、主な公共施設でも配布しています。こちら



子育て支援総合センター

子育てひろば

子育てで感じる喜びや悩みを共有できる「子育てひろば」を実施しています。費用は無料で申込不要なので気軽に遊びに来てください。

▶**ところ・問合せ** 子育て支援総合センター
(生駒セイセイビル3階、☎73-5582)

5・6冊が一度に楽しめる「えほんのひろば」

大型絵本や新しい絵本を毎回5冊以上紹介する催し。読み手は生駒おはなしの会の皆さんや図書館司書です。プロが話す絵本の世界を親子で楽しみに来ませんか。紹介する絵本の世界に合わせた手遊びや歌遊びも行います。

▶**対象** 3歳までの子どもとその保護者
▶**とき** 7月3日(水)10:00~10:45



今月のPick Up

絵本に合わせて皆でジャンプ

4か月までの乳児とその保護者

☆ぴよぴよサロン

▶**とき** 7月24日(水)13:30~15:00
▶**内容** 保育士や保健師に子どもの発達などの相談や体重測定が可能。「パパママ教室」に参加する妊婦との交流もあります。

7~12か月の乳児とその保護者

☆もこもこサロン

▶**とき・ところ** 7月9日(火)13:30~15:00、北コミュニティセンターISTAはばたき
▶**内容** 保育士や保健師に子どもの発達などを相談。手遊びなどもあります。

5・6か月の乳児とその保護者

☆もぐもぐサロン

▶**とき** 7月24日(水)10:00~12:00
▶**内容** 栄養士や保育士に離乳食など子育ての悩みを相談できます。

0~2歳の子ども一人とその父親

☆パパひろば(当日先着20組)

▶**とき** 7月28日(日)10:00~11:30
▶**内容** パパ同士の交流ができたたり、子どもとの遊び方を学べたりします。

お友だち
たくさん作ろうね



もったいない 食器市



とき	ところ
7月4日(木) 13:00~15:00	南コミュニティセンターせせらぎ
7月10日(水) 10:00~13:00	ディアーズコープ いこま
7月18日(木) 13:00~15:00	北コミュニティセンターISTAはばたき

◇食器を無料で持ち帰れます。持ち込みは、開館日の9:00~17:00です(ディアーズコープいこまだけ食器市当日の10:00~12:30)。

◇食器は包装などを外し、陶磁器製・ガラス製に分けて無人回収コンテナに入れてください。その他の材質の食器や灰皿・花瓶・土鍋は持ち込めません。
圃環境保全課(内線354)



3歳児歯科健診 子育て相談

圃健康課(☎75-2255)

▶**対象** 平成28年6・7月に生まれた幼児
▶**とき** 7月25日(木)
▶**内容** 歯科診察、歯科・育児・栄養・発達相談
▶**注意** 3歳は虫歯になりやすい時期です。子どもの歯を守るために必ず受診しましょう。

歯医者さんにお口の中を診てもらえます。終わったら、手作りのおやつが食べられるよ。



他の子育て相談

子育て相談名	対象	とき	内容
① 2歳6か月児歯の相談・子育て相談		7月は実施しません	
② 10か月児すくすく子育て相談	平成30年8・9月に生まれた乳児	26日(金)	身体測定、育児・栄養相談、手遊びの紹介

いずれも…

◇受付時間は9:00~10:00、セラビーいこまで行い、費用は無料です(申込不要)。
◇母子健康手帳を持参してください(②は、バスタオルも持参してください)。
◇①は、偶数月に開催します。



まちの風土を見つめて作詞 時代を超える校歌を残したい

街人探訪
vol.63

国公立大学6校の大学歌を作詞

岡部 剛機さん

おかべたけき ● 信州大学などの大学歌をはじめ、北秋田市民歌などの、まちの歌を作詞。海洋生物を学べる歌などの作曲や作詞のサポートも手がける。京都大学勤務。53歳。本市在住。

小 学校や高校、大学の校風を表す歌「校歌」。その歌詞や曲

は、学校が新設されたり、統廃合されたりしたときなどに、公募されることもある。公募による審査で、信州大学や首都大学東京など、6校の大学歌に歌詞が採用された。

作詞で心がけていることは、聞き手が自分なりの解釈でイメージを広げられるような言葉を紡ぐこと。聞き手の想像力が制限されないように名所やメッセーシ性の強すぎる言葉は、あえて使わない。例えば、山や海が豊かで、島が多く温暖な瀬戸内地方にある尾道市立大学の大学歌には「やまなみ」「まちなみ」「しまなみ」と3つの言葉を重ねて使うことで、尾道の美しい景観を表現した。

「私の書く歌詞は、ストリートにメッセーシが伝わらないかもしれない。だからこそ、聞き手の豊かな想像力で、親しみやすい歌に育つのではないだろうか」

最 初に校歌を作詞したのは19

年前。当時、在職していた奈良先端科学技術大学院大学の大学歌だ。学生時代にロックバンドを組んで、音楽活動をしていたことを知っていた上司から声を掛けられたのがきっかけだった。

校歌を作ると、大学から入学式や卒業式などの行事に来賓として招

待されることがある。そのうちの一回、高知大学の入学式の終了後、退

場する新入生の一人が、「校歌を聞いて、この大学で前向きにやっていたころという気持ちになった」と話している声を、たまたま耳にした。

「ポップスや歌謡曲のように気持ちをストリートに伝える言葉を使わない校歌にも、人の心を動かす力があることに初めて気づいたんです」

校 歌は入学式や卒業式などで聞くことが多い。そんな人生の節目には喜びや不安、せつなさといったさまざまな感情が交錯する。そうした時に校歌を耳にすると、気持ちが鼓舞され、前向きに未来への一歩を踏み出せることがある。校歌には、人の心を揺さぶる効力があると信じている。

「何十年と歌い継がれる校歌は、ヒット曲よりも聞く人の数が多くなる可能性がありません。校歌に限らず、今後も人の心に化学反応を起こせるような歌を作っていきたいです」

Pick Up



歌作りをする作業場

歌詞は机に向かって黙々と書くわけではない。ピアノやギターを弾きながら、まちの風土をイメージした曲を作り、そのメロディーに浮かんだ言葉を乗せて30分ほどで仕上げる。

読者の声

読者の皆さんから寄せられた
広報いこまち5月合併号へ
のご意見・ご感想を紹介します。

こんなにも色々な補助金がある
ことを知りませんでした。我が
家に適応できるものはないかと、一生
懸命読みました(笑)。(50歳代・女性)

暮らしに役立つ補助金を知れて
参考になりました。利用者の感
想も載せると、もっと理解が深まったの
ではないでしょうか。(60歳代・男性)

プラごみを捨てる時に迷うこと
があるので、紙面をごみ箱に貼
っておきます。(40歳代・女性)

どんどこまつりを大きく取り上げ
てほしいです。(30歳代・女性)

図書カード500円分が当たる！
広報いこまち6月15日号の感想を
お待ちしております

広報いこまち「いこまち」のアンケートモニ
ターを募集しています。登録した皆さん
には広報紙に関するアンケートを毎月ご
案内。アンケート回答者の中
から、抽選で毎月5人に図書
カード500円分をプレゼン
トします。詳しくは、市ホー
ムページをご覧ください。



▲詳しくは
こちら

＼ 消費生活 暮らしのQ&A /

{ チケットは公式サイトで購入を ～転売仲介サイトに注意～ }

Q好きなアーティストのコンサートチケットを入手しよう
と一般発売日にインターネットで検索。一番上に表示さ
れたサイトを公式サイトと思い、チケットを購入した。購入後、
思っていた金額より高いので調べると、公式サイトではなく海外
のチケット転売仲介サイトだと気づいた。チケットはまだ受け
取っていない。キャンセルできるか。(50歳代、女性)

A 転売仲介サイトとは、スポーツやコンサートなどのチケッ
トが不要になった人が、購入したい人に売ることができる
ように仲介するウェブサイトのことです。相談があったサイトの
キャンセル条件を確認したところ、キャンセルできるのはチケッ
トが決められた期日までに届かなかった場合などに限られてい
ました。そのため、今回の場合はキャンセルできませんでした。

特に海外の転売仲介サイトは、トラブルが生じてても日本語が
通じないなどの問題もあり、キャンセルの条件や返金の保証など
の交渉が困難な場合があります。

最近では人気チケットの高額転売を防ぐため、主催者から公
式サイト以外で入手したチケットでの入場を断られるケースも
あります。インターネットでチケットを購入する場合は、公式サ
イトを利用し、価格やキャンセルの条件を確認しましょう。



消費生活や多重債務の相談は、できるだけ早く
消費生活センター(☎73-0550)へ
月～金曜日の9:00～16:30(祝日は除く)

{ 編集後記 }

特集1と2を担当しました。あ
すか野ミライ会議は約6か月
前から取材をスタート。参加者
の皆さんは、まちを良くしよう
と、毎回議論が絶えませんでした。「まちの未来を変える」。皆
さんの熱い想いが特集を通し
て届きますように。(村田)

暑いなぁと感じる時が、だんだ
んと増えてきました。これから
の暑さが厳しい季節は熱中症
に要注意。生水だよりではお出
かけ時に使える給水スポット
を紹介しています。生駒のおい
しい水道水を飲んで夏を乗り
切っちゃいましょう。(川口)

5月から市内5自治会で野菜の
移動販売がスタート。市内で採
れた新鮮野菜がさらに手に入
りやすくなりました。連載で担
当している「旬の生駒をいただ
きます」。ぜひ生駒産の野菜で
作ってみてほしいです。感想も
お待ちしております！(泉)

夏の目標は、普段の生活の中
でできるちょっとしたエコを実
践することです。近距離の移動
に車ではなく自転車を使う、エ
アコンを使わずに扇風機など自分
でできることから始めます。皆
さんも、COOLCHOICEに参
加してみませんか。(関口)